

# はじめに

この度は、WHILL Model Fをご利用いただき、誠にありがとうございます。本製品は、電動車椅子の操作が可能な方を対象に、移動手段としてお使いいただくことを想定しております。

本取扱説明書では、本製品の利用者向けに、速度や方向を制御するコントローラーなどの重要な機能について、安全にお使いいただくための方法を説明しています。また、利用者ご自身で実施していただける基本点検、異常時の対処方法、お手入れ方法についても説明しています。

そのほか、取扱店、営業担当者などが本製品の重要な機能を詳細に理解するために本書を役立てていただくこともできます。本書では、本製品の各部について、文章、図、標準的な用語を使用して説明しています。

当社は利用者の安全、快適性、使いやすさを大切にしています。ご使用の前に本書をよくお読みになり、正しく安全にご使用ください。また、本書は、いつでも確認できる場所に大切に保管してください。

- 本書には、機密情報および特許権や著作権の保護対象である情報が含まれており、書面によるWHILL株式会社の明示的な許可を得ず本書の一部あるいは全部を複製、複写することを禁止します。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。  
最新の製品情報については、弊社ウェブサイト（<https://whill.inc>）をご覧ください。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一、ご不明な点や、誤り、お気づきの点がございましたら、WHILLコンタクトデスクまでご連絡ください。

# 本書の見かた

本書では、以下のような記号を使って説明しています。記号の付いた指示は必ずお守りください。

記号	内容
 <b>警 告</b>	指示を守らなかった場合に、人が重度の傷害を負う可能性が想定される内容です。
 <b>注 意</b>	指示を守らなかった場合に、人が軽度または中度の傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。
	しなければならないことを示しています。
	してはならないことを示しています。
	故障や不具合を防ぐため、および快適に製品を使用するために、必ず読んでいただきたい注意事項や、参考となる情報です。

# 目次

はじめに .....	1
本書の見かた .....	2
1. 安全上のご注意 .....	6
1.1. EMI（電磁波干渉）について .....	10
1.1.1. 一般的な質問と回答 .....	10
1.2. 本体のラベルについて .....	11
2. 製品について .....	12
2.1. 内容物の確認 .....	12
2.2. 各部の名称・はたらき .....	12
2.3. アクセサリー .....	15
3. 組立・調整 .....	16
3.1. 部位の名称 .....	16
3.1.1. 本体を組立する前に .....	18
3.2. 組立方法 .....	19
3.2.1. 折りたたみの解除 .....	20
3.2.2. カラープレートの取り付け .....	22
3.2.3. アームレストの取り付けについて .....	23
3.2.4. アームレストの取り付け .....	25
3.2.5. アームレストの高さ調整 .....	37
3.2.6. ケーブルの接続 .....	38
3.2.7. シートクッションの取り付け .....	39
3.2.8. バッテリーの取り付け .....	40
3.3. 調整方法 .....	41
3.3.1. アームレストの高さ調整 .....	42
3.3.2. アームレストの間隔変更 .....	44
3.3.3. コントローラーの左右位置変更 .....	47
4. バッテリーの充電 .....	50
4.1. バッテリー、充電器について .....	52
4.1.1. バッテリーの取り外し .....	53
4.2. 充電方法 .....	54
4.2.1. バッテリーを本体に取り付けたまま充電する場合 .....	56
4.2.2. バッテリーを外して充電する場合 .....	58
4.2.3. 充電ランプの表示 .....	61

---

5. 操作方法 .....	62
5.1. 乗車前点検 .....	63
5.2. 乗車する .....	64
5.2.1. 前方からの乗車 .....	66
5.3. 骨盤ベルト（オプション）を締める .....	68
5.3.1. 骨盤ベルトを外す .....	68
5.4. 電源を入れる .....	69
5.4.1. バッテリー残量を確認する .....	70
5.4.2. 速度を調整する .....	70
5.4.3. サウンドボタンを使用する .....	70
5.5. 運転する .....	71
5.5.1. 前後へ移動する .....	74
5.5.2. 斜め方向へ移動する .....	74
5.5.3. 回転する .....	75
5.5.4. 停止する .....	75
5.5.5. 速度を調整する .....	76
5.5.6. 路面状況ごとの運転 .....	77
5.6. ブレーキを解除する .....	78
5.6.1. 解除方法 .....	78
5.7. 荷物を持ち運ぶ .....	79
6. 折りたたみ手順 .....	80
6.1. 注意事項 .....	80
6.2. 折りたたみ方法 .....	81
6.3. 折りたたみ解除方法 .....	83
7. 運搬・保管方法 .....	86
7.1. 保管 .....	86
7.2. 運搬 .....	87
7.2.1. 本体を折りたたんだ状態で運ぶ .....	88
7.2.2. 本体をトランクに積み込む .....	90
7.2.3. アームレスト（コントローラー付属）を取り外して運ぶ .....	91
8. スマートフォンアプリについて .....	94
9. 保守・点検 .....	96
9.1. お手入れ .....	96
9.2. コントローラーの操作部の取り付け .....	98
9.3. 点検 .....	99
9.4. 製造者・取扱店が行う修理・メンテナンス・部品交換 .....	99

---

---

9.5. 廃棄について .....	99
9.6. 保証について .....	99
9.7. 製造年月の確認方法について .....	100
10. トラブルシューティング .....	102
11. 仕様・試験結果 .....	104
11.1. 仕様 .....	104
11.2. 寸法と試験結果 .....	106
索引 .....	108
お問い合わせ先 .....	110

# 1. 安全上のご注意

WHILL Model F は安全性に十分配慮して設計、製造されていますが、誤った使いかたをしたり、注意事項を守らないと、人体や家財に損害を与える可能性があります。

安全に関する記載事項は、危害や損傷の大きさと切迫の程度を明示するために「警告」と「注意」に区別しています。警告は、指示を守らなかった場合に、人が重度の障害を負う可能性が想定される内容、注意は、人が軽度または中度の傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

WHILL Model F は電動車椅子です。本書に記載の内容を正しく理解してから使用を開始してください。電動車椅子の使用が困難な方のご使用は控えてください。また以下に注意してお取り扱いください。

- 一般的の舗装路や室内での使用が想定されております。
- 介助者が本製品を操作する場合は、本書をよく読み、使用上の注意などを十分理解して、本製品を使用してください。  
また、介助が困難な場合は、操作は控えてください。

## 1. 本製品の使用にあたって

### ⚠ 警 告



- 使用中に異常を感じた場合は、ただちに使用を中止し、取扱店または WHILL コンタクトデスクまでご連絡ください。

故障した状態で使用を続けると、怪我をしたり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。

- 乗車前に折りたたみが正しく解除されていること、すべての部位が正しく組み立てられていることを確認してください。また部品がなくなっていたり壊れている部位がないこと、ブレーキがロックされていることを確認してください。

怪我をしたり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。部品の交換や修理が必要な場合は、使用を中止し、取扱店または WHILL コンタクトデスクにご連絡ください。

- バッテリーや充電器に関する本書の説明をよく読み、指示を守ってください。

バッテリーや充電器を分解する、火気に近づける、濡らす、衝撃を与える（落とす、釘を刺す、踏む）などの行為は火災の原因となったり、バッテリーが爆発するおそれがあります。

- 運転しないときは本体の電源を切ってください。

コントローラーに誤って触れたときに、本体が思わぬ動きをするおそれがあります。

- 本製品の耐荷重は、乗員と荷物を合わせて 115kg です。本体は耐荷重を守ってご使用ください。  
製品が破損するおそれがあります。



- コントローラーに座ったり、折りたたんだ状態でコントローラーを地面側にして置くなどして、コントローラーに過度な負荷をかけないでください。また、コントローラーやスイッチを強い力で押したり、鋭利なもので操作しないでください。

コントローラーやスイッチが破損して、本体の操作ができなくなる可能性があります。

- フットサポートに飛び乗ったり、フットサポートの上に立つなど、フットサポートに過大な重量を掛けないでください。

本体が浮き上がり、転倒するおそれがあります。

- 転倒防止ローラーの間にあるフットペダルに乗らないでください。

転倒のおそれがあります。また、転倒防止ローラーとフットペダルが変形し、転倒防止機能が失われる可能性があります。転倒防止ローラーとフットペダルが変形した場合は交換が必要ですので、取扱店または WHILL コンタクトデスクにご連絡ください。

## ⚠ 警 告



- スイッチ、ディスプレイ、およびラベルの上からシールを貼ったり、ペイントしないでください。  
表示が見えなくなつて誤操作の原因となり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。

- 人が乗車した状態で製品を持ち上げないでください。  
転落や転倒のおそれがあります。

- 本製品を自動車などの座席として使用しないでください。  
製品が破損したり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。右記の記号は、本製品が自動車などの座席としては使用できないことを示しています。



## ⚠ 注 意



- 長期間使用しない場合は、バッテリーを必ず満充電にしてから保管してください。また、少なくとも 1 カ月に 1 回は必ず充電してください。  
バッテリーが過放電して、使用できなくなる可能性があります。

- 本体の表面温度に注意して本製品を使用してください。  
外部の熱源にさらされることによって、表面温度が極端に熱くなったり冷たくなったりします。

## 2. 乗車・運転時に守るべきこと

1

### ⚠ 警 告



- 本体へ乗り降りする際は、本体の電源を切ってください。  
コントローラーに誤って触れたときに、本体の誤動作を引き起こす可能性があります。
- 運転する際は周囲や路面状況を十分に確認し、特に、人混みや壁際などの障害物が近くにある場所、狭い場所、また、平坦ではない道や斜面を走行する際には、低速でゆっくり走行してください。  
思わぬ事故が発生するおそれがあります。特に濡れた坂道では、本体の安定性を維持できない可能性がありますので、十分に注意してください。
- 縁石、段差、勾配、溝などには、90°の角度で進入し、低速でゆっくり走行してください。  
転倒したり、本体が変形する可能性があります。
- 走行中は必ずフットサポートを下げてください。また、足はフットサポートの上に乗せ、フットサポートの幅からはみ出さないようにしてください。  
足が前輪に巻き込まれる可能性があります。
- 下り坂で停止するときは、コントローラーから早めに手を離し、余裕を持って停止するように心がけてください。  
下り坂では、ブレーキの制動距離が長くなります。思った位置で停止できずに、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- ブレーキの解除は必ず平坦な場所で、電源を切ってから、緊急時のみ行ってください。手動での移動が完了したらすぐにブレーキ解除レバーを上げてブレーキをロックしてください。  
ブレーキを解除すると本体が自由に動くため、思わぬ事故が発生するおそれがあります。



- 以下の場所は走行しないでください。  
転倒したり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
  - エスカレーター・階段
  - 3.5cmより高い段差
  - 10°以上の勾配
  - 砂地や沼地などの柔らかい路面
  - 雪道や凍結した路面
- 緊急時を除き、ブレーキを解除して本体を押して移動させないでください。  
ブレーキがかかるないため、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- 乗車中に、かがんだり、身を乗り出したり、運動したりしないでください。重心に気をつけて動作を行ってください。  
製品の安定性やバランスに影響を与える可能性があります。取りづらいものをとる場合は、周囲の人々に介助を求めてください。
- 手に物を持ったり、膝の上に物を置いて運転しないでください。  
誤操作や転倒の可能性があります。
- 3.5cmより高い縁石や段差からは降りないようしてください。  
転倒防止ローラーが段差に引っ掛かり、走行できなくなる可能性があります。

### 3. 組立・調整の注意

#### ⚠ 警 告



- 組立は必ず本書で説明されている手順通り行い、本書で説明されていない部位についての調整・修理または改造は行わないでください。

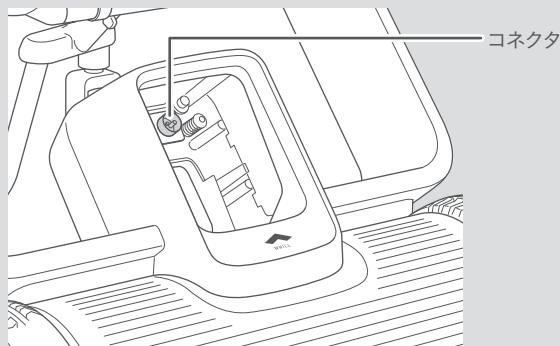
怪我をしたり、本体や部品が損傷して製品の安全性に重大な影響を与えるおそれがあります。また、本書に記載されていない内容の修理や改造を行った場合、保証の対象外となる場合があります。

- 組立・調整は、バッテリーを取り外し、ブレーキをロックした状態で、平坦な場所で行ってください。思わぬ事故が発生するおそれがあります。

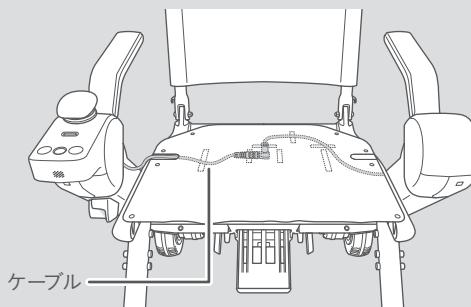


- コネクタに直接触れたり、濡らしたり、金属などの異物を近づけたりしないでください。また、組み立て時には異物が付着していないかを確認してください。

怪我または感電をしたり、本体や部品が損傷するおそれがあります。



- シートの裏側にあるケーブルに、鋭利な物を押し付けたり、過度な負荷をかけたりしないでください。ケーブルが断線し、故障や誤動作に繋がるおそれがあります。



## 1.1. EMI（電磁波干渉）について

電波が原因で、本製品が想定外の動きをすることがあります。高圧線やテレビ塔など強い電磁波が出ている所での走行は避けてください。電波が本製品の制御機能に干渉するおそれがあります。

また、本製品自体も電磁場を発生させて、近くにある他のデバイスの動作に干渉するおそれがあります。

本製品が想定外の動作をして重大な怪我を負うことを防ぐため、下記の事項に十分に留意してください。

- 本製品の電源が入っている間は、市民ラジオ(CB)などのハンドヘルドトランシーバ（送受信機）を操作したり、携帯電話などの個人用通信機器の電源を入れないでください。
- ラジオ局やテレビ局など、近くの送信機の場所を把握し、なるべく近づかないようにしてください。
- アクセサリーや部品を追加したり、本製品を改造すると、EMIの影響を受けやすくなることに注意してください。

本製品の操作部を操作していないのに動いたり止まったりするなど、本製品が想定外の動作を行った場合は、次のことを行ってください。

- 安全を確認できたら、本体の電源を切る。
- そのときに操作部をどのように操作していたか記録する。
- 操作部を使用して起動できなかった本製品の動作を記録する。
- 本製品の近くにある携帯電話などの電波発生源となり得る周囲の電子装置を記録する。

これらの記録を基に電波干渉の原因を考え、原因を取り除いてください。それでも解決しないときは、取扱店またはWHILL コンタクトデスクにご相談ください。その際、記録したメモをお手元にご用意ください。



電波干渉を受けたと考えられる場合は、電源を切ってバッテリーを取り外してください。

### 1.1.1. 一般的な質問と回答

本製品がEMI（電磁干渉）やRFI（電波干渉）を受けるのをできる限り避けるため、一般的な質問とその回答を以下に示しますので参考にしてください。

#### ● 電波はどこから来るのですか？

電波は、一方向または双方向の無線機器から放射されます。このような機器としては、トランシーバー、携帯電話、無線コンピューターリンク、マイクロ波発生源、無線呼出送信機などがあります。電波は電磁（EM）エネルギーの一形態であり、送信アンテナに近いほどエネルギーは強くなります。この電磁場が、電動装置の利用者にとって問題を引き起こす可能性があります。

#### ● 本製品がEMIやRFIの影響を受けるとしたら、どのような動きを想定しておく必要がありますか？

EMIやRFIは動的変化が非常に大きく、次のような条件によっては本製品に影響を与える可能性があります。

- 電波の周波数と強さ
- 電源装置の構造
- 本製品の傾き（地面が水平か斜面か）
- 本製品の電源が入っているか否か、動いているか否か

本製品が影響を受けた場合、異常な動きを示す可能性があります。勝手に動き出したり急停止したりする可能性もあります。また、強いEMIやRFIの発生により、制御システムが損傷する場合もあります。

## 1.2. 本体のラベルについて

本体を操作するにあたって、危険の存在する箇所に警告ラベルを貼り付けています。また、製品の情報、およびレバーのロック・解除位置など、製品を使用する上で重要な情報をラベルで示しています。

販売される地域およびモデルによって、本取扱説明書で説明されていないラベルがある可能性があります。

### ⚠ 注意



- ラベルは絶対に剥がさないでください。  
重要な情報が記載されています。

## 2. 製品について

本製品は、自操用標準形の電動車椅子で、道路交通法第1章（総則）第2条（定義）第1項 11号の3 「身体障がい者用の車いす」に該当します。車いすの用途以外には、使用しないでください。

### 2.1. 内容物の確認

本製品には本体を含む以下の内容物があります。使用を開始する前に、不足している物や損傷がないか、必ず確認してください。万一、不足している物があったり、本製品が損傷している場合は、取扱店またはWHILL コンタクトデスクにご連絡ください。

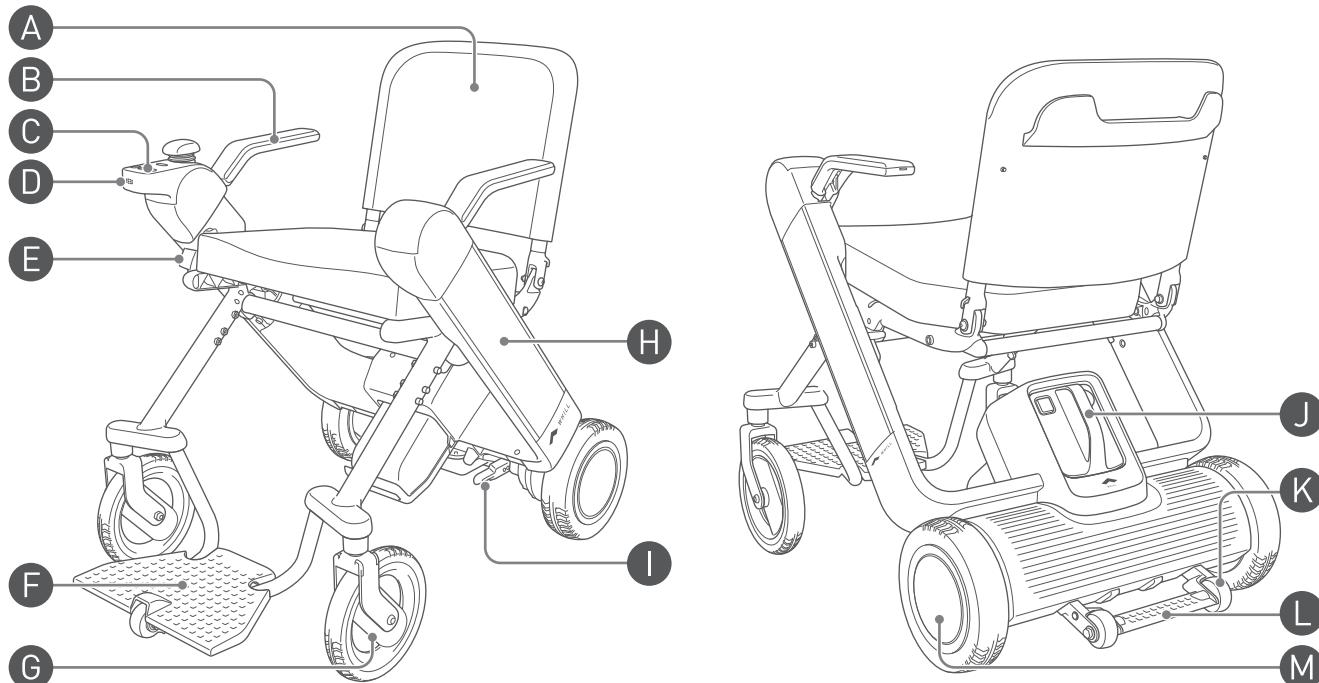
- WHILL Model F（本体）
- カラープレート
- アームレスト（コントローラー付属）
- アームレスト（コントローラーなし）
- シートクッション
- バッテリー
- 充電器
- 取扱説明書（本書）
- 携帯用操作ガイド
- 保証書
- アプリ登録 ID・パスワードラベル



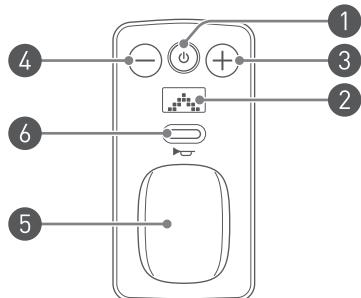
開梱する際は、内容物を傷つけないように注意してください。

### 2.2. 各部の名称・はたらき

#### ■ 本体



※ 図は右側にコントローラーを取り付けた状態

**A** バックサポート**B** アームレスト**C** コントローラー**① 電源ボタン**

電源をオン／オフします。

**② ディスプレイ****③ 速度調整ボタン「+」**

最大速度を上げます。

**④ 速度調整ボタン「−」**

最大速度を下げます。

**⑤ コントローラーヘッド（操作部）**

本体を前後左右に操作することができます。

コントローラーヘッドの傾き加減により速度の調整  
もできます。**⑥ サウンドボタン**

本体から出力される音声をオン／オフします。

**D** スピーカー**E** ロック解除ボタン折りたたみ／折りたたみ解除をするときに、ロックを解  
除するボタンです。**F** フットサポート

座ったときに足を置く台です。

**G** 前輪**H** アーム**I** ブレーキ解除レバー

後輪のブレーキを解除するためのレバーです。

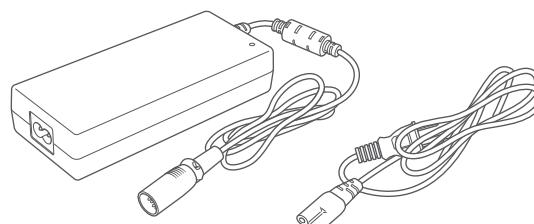
シートの下の両側にあります。

**J** バッテリー詳しくは、「4.1. バッテリー、充電器について」(52  
ページ)をご覧ください。**K** 転倒防止ローラー

本体が後方に転倒することを防ぐためのローラーです。

**L** フットペダル折りたたみ／折りたたみ解除をするときに、車体を固  
定するためのペダルです。**M** 後輪**■ 充電器**

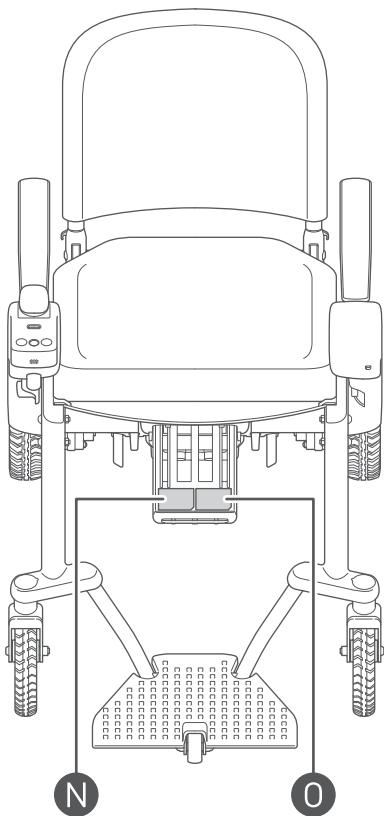
バッテリーの充電に使用します。

詳しくは、「4.1. バッテリー、充電器について」(52  
ページ)をご覧ください。

## ■ 製品情報

製造情報のラベルは、バッテリーフレームの内側に貼付されています。

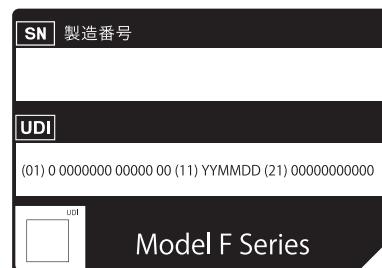
2



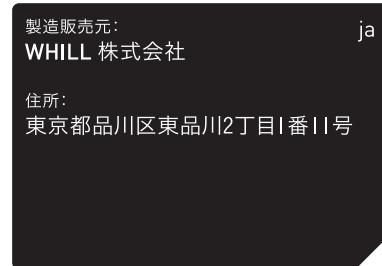
### N 基本情報ラベル

本製品の製造番号（シリアルナンバー）、UDI（機器固有識別子）を表示しています。

WHILL コンタクトデスクにお問合せ時には、本ラベルを参照して製造番号をご確認ください。



### O 製造販売元ラベル



本製品の製造販売元、住所を表示しています。

### 2.3. アクセサリー

アクセサリーは、必ず純正品をご使用ください。

本製品に取り付け可能なアクセサリーについては、取扱店またはWHILL コンタクトデスクにお問い合わせください。

またWHILL 株式会社ウェブサイト (<https://whill.inc>) もご覧ください。

### 3. 組立・調整

ここでは、本体の組み立ておよび各部の調整方法を説明します。

組み立ては、本書で説明する順序で行ってください。

#### ⚠ 警 告



- バッテリーと充電器を箱から出す際や本体に取り付ける際に、バッテリーと充電器を落とさないように注意してください。

怪我や発火などの思わぬ事故が発生するおそれがあります。

- 組立・調整は、バッテリーを取り外し、ブレーキをかけた状態で、平坦な場所で行ってください。  
本体が動き出し、思わぬ事故が発生するおそれがあります。

- 調整後は必ずすべての部品を元に戻してください。

部品が不足していると、本体が損傷するおそれがあります。

- 組立・調整は必ず本書で説明されている手順通り行い、本書で説明されていない部位についての調整・修理または改造は行わないでください。

怪我をしたり、本体や部品が損傷して製品の安全性に重大な影響を与えるおそれがあります。また、本書に記載されていない内容の修理や改造を行った場合、保証の対象外となる場合があります。

- 濡れた状態で組み立てを行わないでください。

製品が破損したり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。

- 本体を箱から出す際はしっかりと保持し、落としたり倒したりしないように注意してください。

落として怪我をしたり、製品が破損したりするおそれがあります。

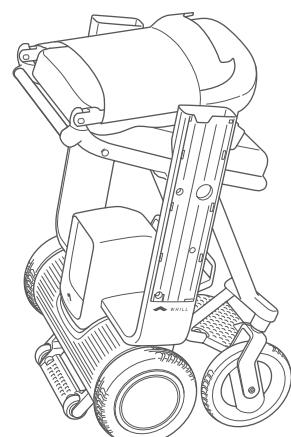


ご自分で組立・調整ができない場合は、取扱店またはWHILL コンタクトデスクにお問い合わせください。

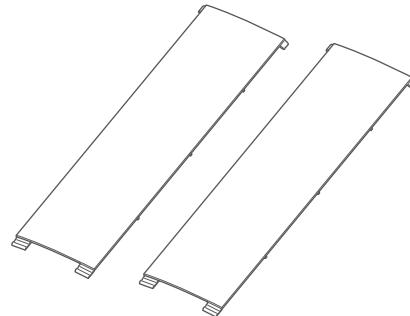
#### 3.1. 部位の名称

本製品には以下の物が同梱されています。

- WHILL Model F (本体)

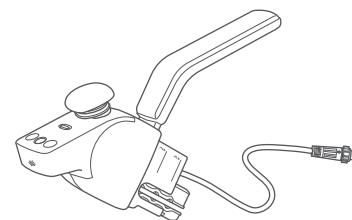


- カラープレート

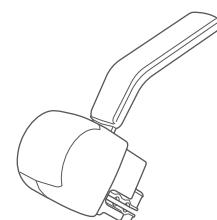


- アームレスト（コントローラー付属）

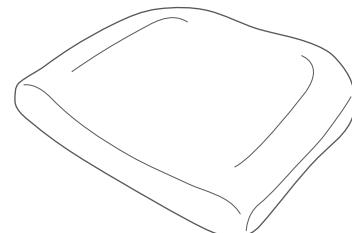
3



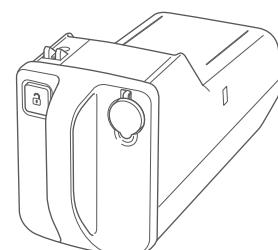
- アームレスト（コントローラーなし）



- シートクッション



- バッテリー



### 3.1.1. 本体を組立する前に

本製品は使用者の体に合わせて、以下の調整を行うことができます。

- アームレストの間隔
- アームレストの高さ
- コントローラーの位置

調整を行う場合は、ここで説明する順序で行ってください。

折りたたみを解除します。

#### 3.2.1. 折りたたみの解除



カラープレートを取り付けます。

#### 3.2.2. カラープレートの取り付け



アームレストを取り付けます。

#### 3.2.3. アームレストの取り付けについて

#### 3.2.4. アームレストの取り付け

アームレストの間隔と、コントローラーの位置を選択して取り付けます。

		アームレストの間隔	
		標準	ゆったり
コントローラーの位置	右側	取り付けパターン 1 (25 ページ)	取り付けパターン 2 (26 ページ)
	左側	取り付けパターン 3 (31 ページ)	取り付けパターン 4 (36 ページ)



アームレストの高さを調整します。

#### 3.2.5. アームレストの高さ調整



コントローラーのケーブルを接続します。

#### 3.2.6. ケーブルの接続



シートクッションを取り付けます。

#### 3.2.7. シートクッションの取り付け



バッテリーを取り付けます。

#### 3.2.8. バッテリーの取り付け

## 3.2. 組立方法

本体の組み立てには、工具は必要ありません。本体を組み立てる際には、以下に十分に注意してください。

### ⚠ 警 告



- 組み立てや調整は、バッテリーを取り外し、ブレーキをかけた状態で、平坦な場所で行ってください。  
思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- コネクタの金属端子に直接触れたり、濡らしたり、金属などの異物を近づけたりしないでください。また、組み立て時には異物が付着していないかを確認してください。  
怪我または感電をしたり、本体や部品が損傷するおそれがあります。

3

### ⚠ 注 意



- 組み立てや調整の際は、本書で説明している持ち手部分を持ち、ほかの部分は持たないでください。  
手を挟んで怪我をするおそれがあります。
- 安全に使用するために、以下に注意して調整してください。  
思わぬ事故が発生するおそれがあります。
  - ・必ず体に合うように調整してからご使用ください。
  - ・組み立ておよび調整時のネジの締め忘れや締めすぎに気をつけてください。
  - ・組み立てや調整を行う際は必ず本体から降りてください。
- アームレストやその他の部品を本体に取り付け・取り外す際は無理に力を加えないように気をつけてください。  
怪我をしたり、部品が破損するおそれがあります。
- アームレストの取り付け、高さ調整でアームを上下に動かす際は、指を挟まないように注意してください。  
怪我をするおそれがあります。
- コントローラーを投げる、踏むなどして強い衝撃を加えたり、水に浸さないでください。  
スイッチやコントローラーが破損し、本体の操作ができなくなる可能性があります。
- コントローラーのディスプレイを引っ掻いて傷をつけたり、汚れた手で触らないでください。  
ディスプレイの表示が見えなくなるおそれがあります。
- コントローラーは分解しないでください。  
コントローラーが故障する原因となります。



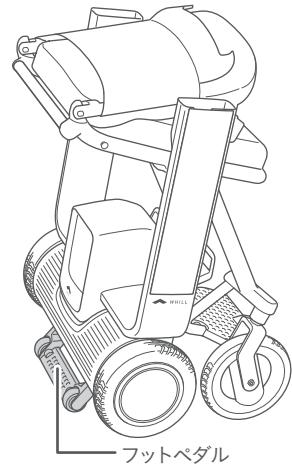
### 3.2.1. 折りたたみの解除



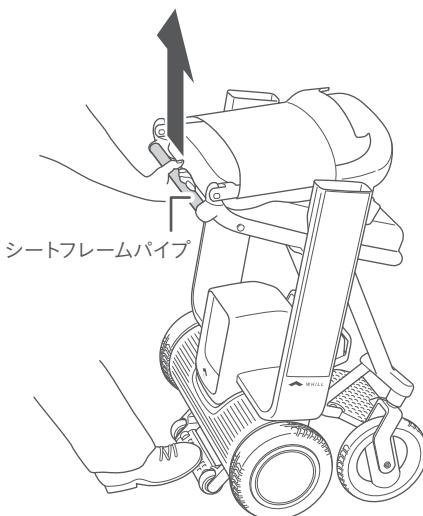
本製品の折りたたみを解除するときは以下の手順に従い、バッテリーを取り外した状態で行ってください。

1. フットペダルを支えて本体を固定します。

3



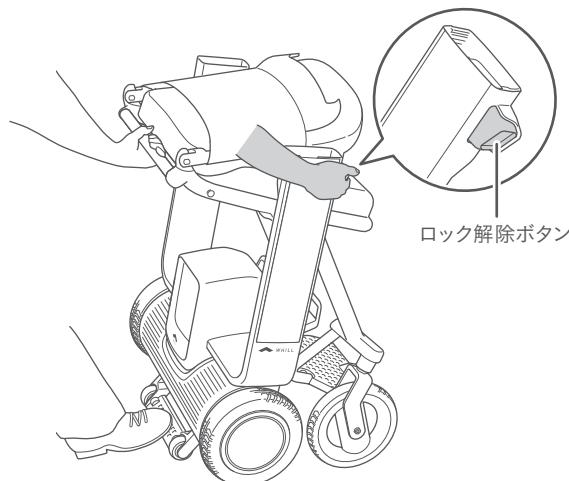
2. シートフレームパイプを上方向に軽く引き上げます。



3. シートフレームパイプを上方向に引き上げた状態で、ロック解除ボタンを押します。



ロック解除ボタンの誤作動防止のため、シートフレームパイプを上方向に引き上げないと、ロック解除ボタンが押し込めないように設計されています。



3

4. シートフレームパイプを下げて、本体が展開し始めたらロック解除ボタンをはなします。

「カチッ」と音がする位置まで本体を開きます。

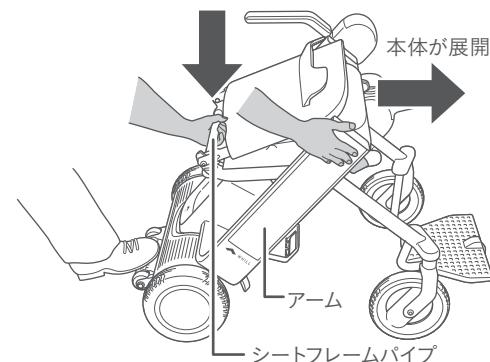


警告



本体の接続部や可動部に指などを挟むと、怪我をするおそれがあります。

本体の組立・調整・運搬の際は、本書で説明している部分以外は触れないでください。



5. バックサポートを起こします。



警告



本体の接続部や可動部に指などを挟むと、怪我をするおそれがあります。

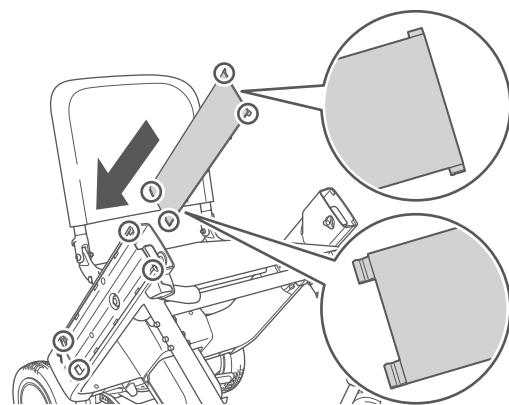
本体の組立・調整・運搬の際は、本書で説明している部分以外は触れないでください。



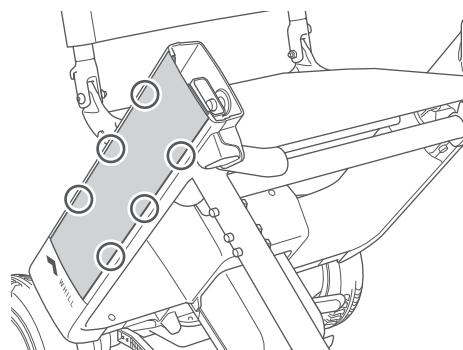
### 3.2.2. カラープレートの取り付け

1. アームの取り付け穴に、カラープレートの四隅にあるツメ（それぞれ 4箇所）を取り付けます。

3



2. カラープレートの側面にあるツメを、アームの取り付け穴（それぞれ 6箇所）に押し込んで固定します。



3. 同様に、反対側のカラープレートを取り付けます。

### 3.2.3. アームレストの取り付けについて

本製品は使用者の体に合わせて、アームレストの間隔とコントローラーの位置を選択することができます。

使いたい仕様に合わせて、以下の項目を参照してください。

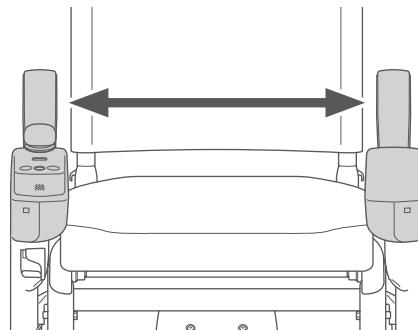
		アームレストの間隔	
		標準	ゆったり
コントローラーの位置	右側	取り付けパターン 1 (25 ページ)	取り付けパターン 2 (26 ページ)
	左側	取り付けパターン 3 (31 ページ)	取り付けパターン 4 (36 ページ)

3

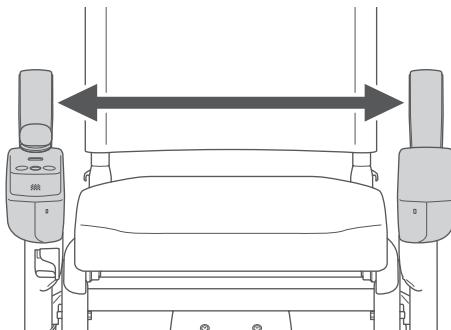
#### ■ アームレストの間隔

アームレストの間隔は「標準」と「ゆったり」の2種類から選択することができます。

以下の図では、右側のアームにコントローラーが取り付けられている例を紹介します。



標準：コントローラーが内側に出っ張る状態  
(間隔 430 mm)

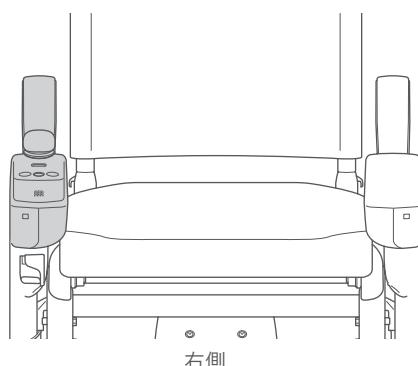


ゆったり：コントローラーが外側に出っ張る状態  
(間隔 480mm)

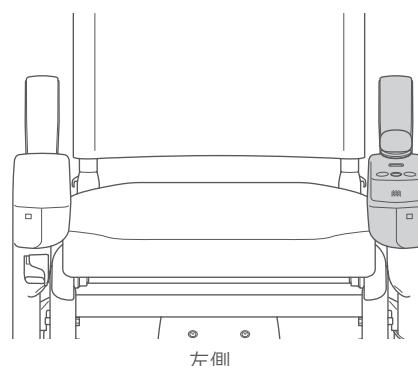
#### ■ コントローラーの位置

コントローラーは右側または左側に取り付けることができます。

コントローラーの取り付け・取り外しの際は、指を挟まないように注意してください。



右側



左側

※ 図はアームレストの間隔が「標準」の状態

#### ⚠ 注意

- アームレストを取り付ける際は、指を挟まないように注意してください。  
怪我をするおそれがあります。



## ⚠ 注意



- コントローラーを投げる、踏む、落とす、コントローラーヘッドを引っ張るなどして強い衝撃を加えたり、水に浸さないでください。  
スイッチやコントローラーが破損し、本体の操作ができなくなる可能性があります。
- コントローラーのディスプレイやスイッチを引っ掻いて傷をつけたり、汚れた手で触らないでください。  
ディスプレイやスイッチの表示が見えなくなるおそれがあります。
- コントローラーは分解しないでください。  
コントローラーが故障する原因となります。

## 3.2.4. アームレストの取り付け

## ■ 取り付けパターン 1



ここでは下記の仕様で使用したい場合について説明します。

## コントローラーの位置

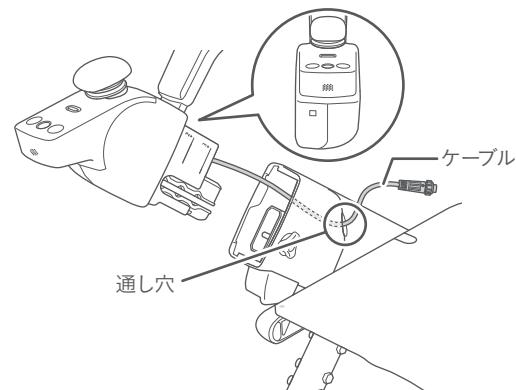
右側

## アームレストの間隔

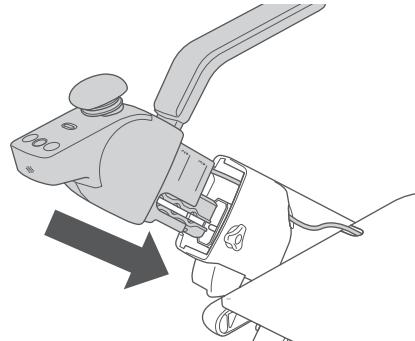
標準

3

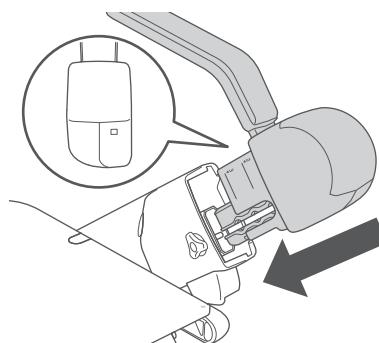
- アームレスト（コントローラー付属）のケーブルを、本体右側にある通し穴に通します。



- アームレスト（コントローラー付属）を本体右側に取り付けます。



- アームレスト（コントローラーなし）を本体左側に取り付けます。



## ■ 取り付けパターン 2

i

ここでは下記の仕様で使用したい場合について説明します。

コントローラーの位置

右側

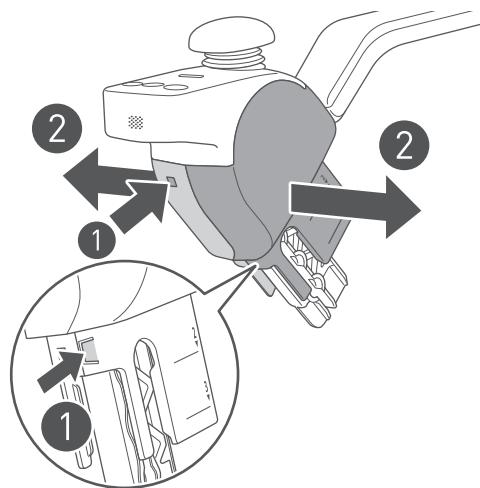
アームレストの間隔

ゆったり

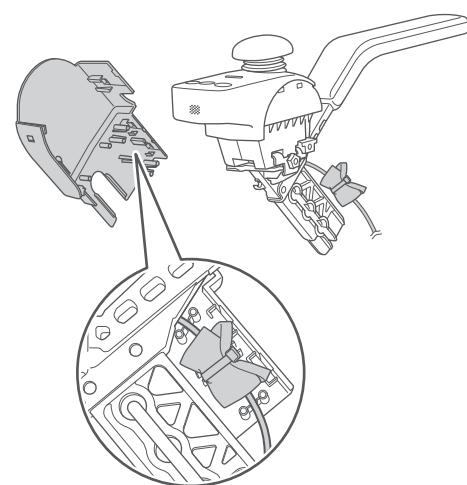
3

1. アームレスト（コントローラー付属）から、カバーを取り外します。

- 1 図の矢印の箇所を押してツメ（2箇所）を外し、左右のカバーを分離します。
- 2 カバーを取り外します。



2. カバーの内側に取り付けられているケーブルを取り外します。

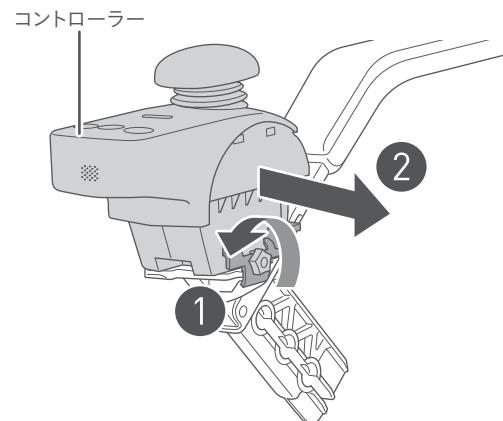


3. アームレスト（コントローラー付属）から、コントローラを取り外します。

- ① ネジを回して、金具と一緒に外します。  
② コントローラーを矢印方向へずらして取り外します。



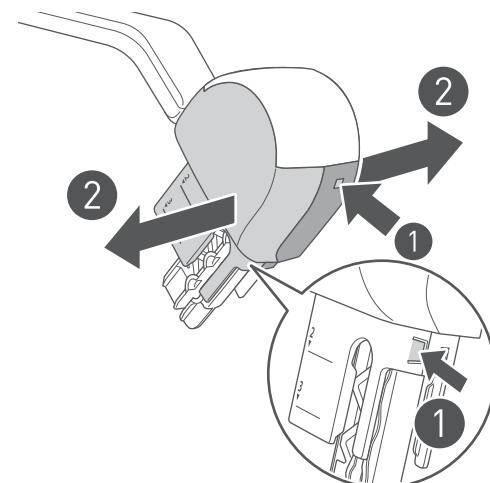
コントローラーを強く引っ張らないでください。コントローラーに接続されているケーブルが断線するおそれがあります。



3

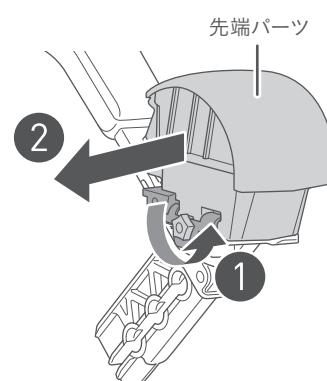
4. アームレスト（コントローラーなし）から、カバーを取り外します。

- ① 図の矢印の箇所を押してツメ（2箇所）を外し、左右のカバーを分離します。  
② カバーを取り外します。



5. アームレスト（コントローラーなし）の先端パーツを取り外します。

- ① ネジを回して、金具と一緒に外します。  
② 先端パーツを矢印方向へずらして取り外します。



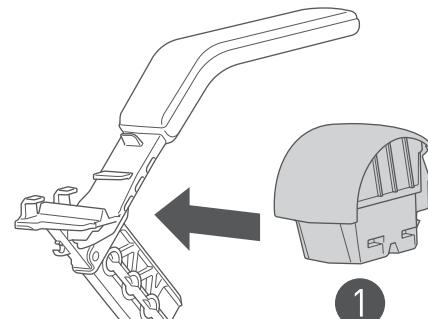
6. 手順 5 で外した先端パーツを反対側のアームレストに取り付けます。

- ① 先端パーツの凹部を、アームレストの凸部に合わせて差し込みます。
- ② 手順 3 で外したネジと金具を取り付け、ネジを締めて先端パーツを固定します。

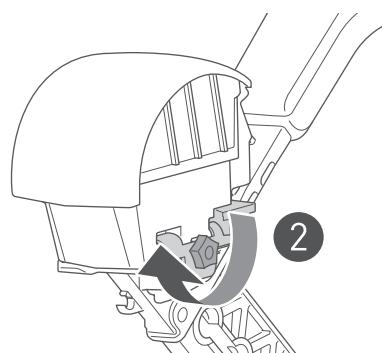
3



取り付けた先端パーツを上下左右に動かして、固定されていることを確認してください。

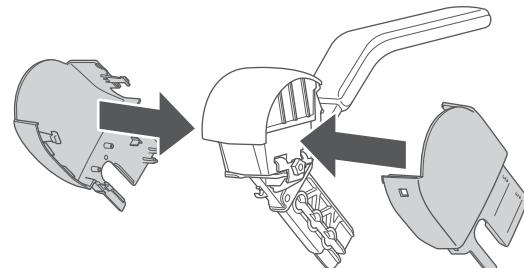


1



2

7. アームレスト（コントローラーなし）の先端部分を取り付けた側のアームレストに、手順 1 で外したカバーを取り付けます。



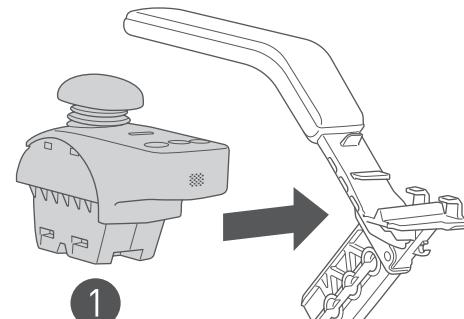
8. 手順 3 で外したコントローラーを反対側のアームレストに取り付けます。

① コントローラーの凹部を、アームレストの凸部に合わせて差し込みます。

② 手順 5 で外したネジと金具を取り付け、ネジを締めてコントローラーを固定します。

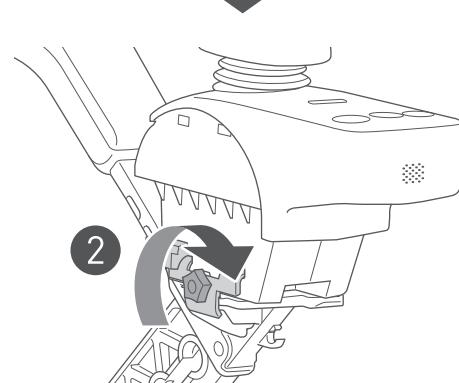


取り付けたコントローラーを上下左右に動かして、固定されていることを確認してください。



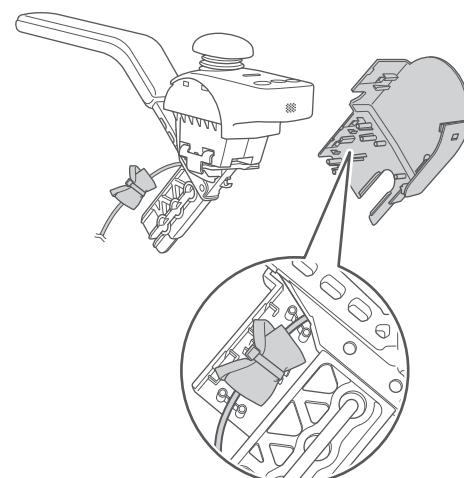
1

3

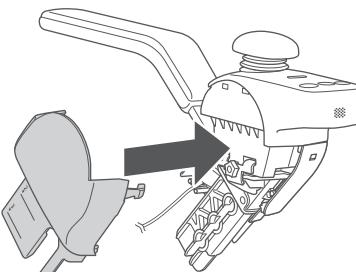


2

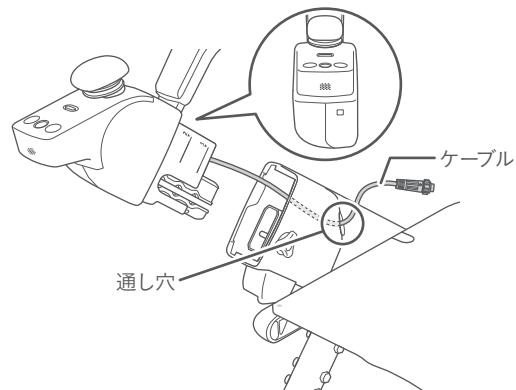
9. 手順 2 で外したケーブルを、手順 4 で外した外側のカバーに取り付けます。



10. アームレスト（コントローラー付属）に、手順 4 で外したカバーを取り付けます。

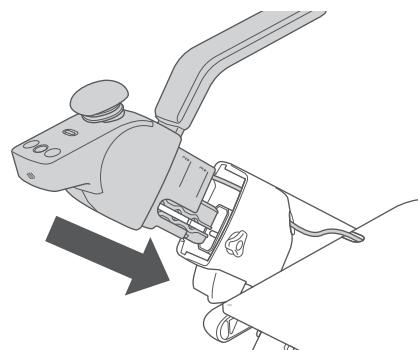


11. 手順 10 で組み立てたアームレスト（コントローラー付属）のケーブルを、本体右側にある通し穴に通します。

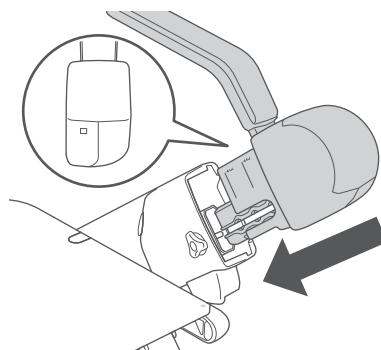


3

12. 手順 10 で組み立てたアームレスト（コントローラー付属）を本体右側に取り付けます。



13. 手順 7 で組み立てたアームレスト（コントローラーなし）を本体左側に取り付けます。



## ■ 取り付けパターン 3



ここでは下記の仕様で使用したい場合について説明します。

## コントローラーの位置

左側

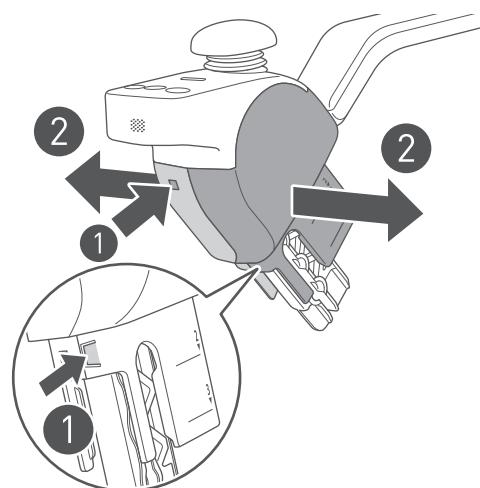
## アームレストの間隔

標準

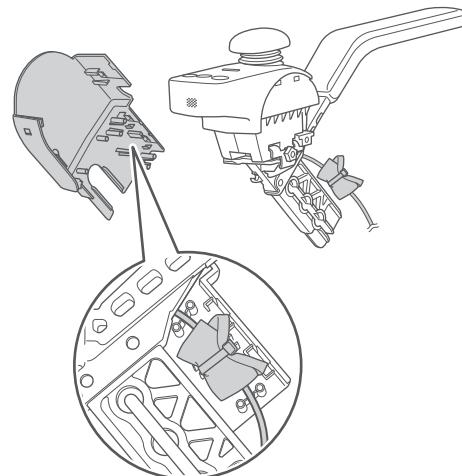
3

- アームレスト（コントローラー付属）から、カバーを取り外します。

- 図の矢印の箇所を押してツメ（2箇所）を外し、左右のカバーを分離します。
- カバーを取り外します。



- カバーの内側に取り付けられているケーブルを取り外します。



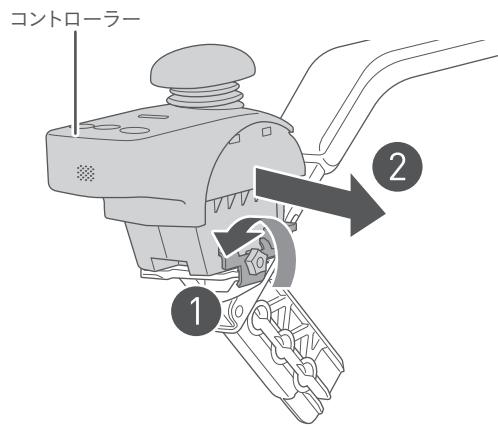
3. アームレスト（コントローラー付属）から、コントローラを取り外します。

- ① ネジを回して、金具と一緒に外します。  
② コントローラーを矢印方向へずらして取り外します。



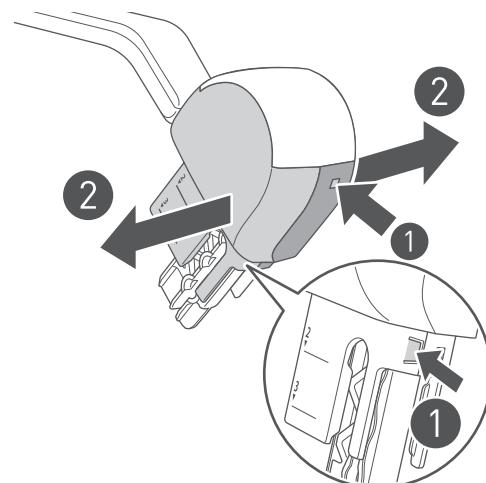
コントローラーを強く引っ張らないでください。コントローラーに接続されているケーブルが断線するおそれがあります。

3



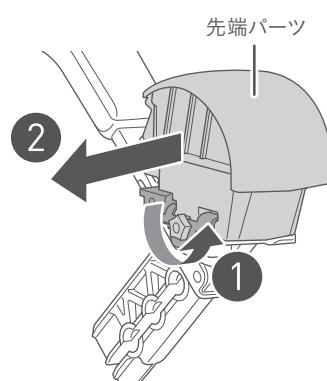
4. アームレスト（コントローラーなし）から、カバーを取り外します。

- ① 図の矢印の箇所を押してツメ（2箇所）を外し、左右のカバーを分離します。  
② カバーを取り外します。



5. アームレスト（コントローラーなし）の先端パーツを取り外します。

- ① ネジを回して、金具と一緒に外します。  
② 先端パーツを矢印方向へずらして取り外します。

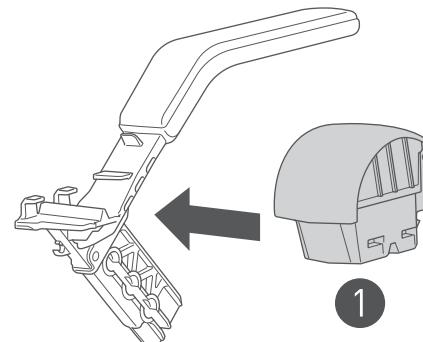


6. 手順 5 で外した先端パーツを反対側のアームレストに取り付けます。

- ① 先端パーツの凹部を、アームレストの凸部に合わせて差し込みます。
- ② 手順 3 で外したネジと金具を取り付け、ネジを締めて先端パーツを固定します。



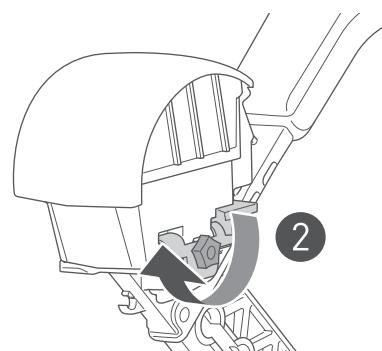
取り付けた先端パーツを上下左右に動かして、固定されていることを確認してください。



1

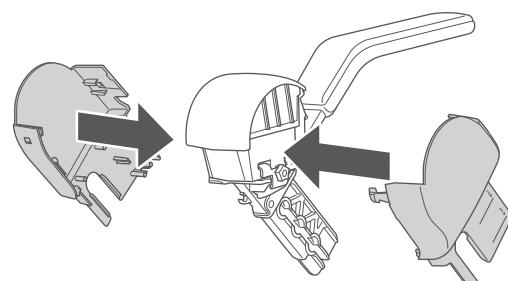


3



2

7. 先端パーツを取り付けた側のアームレストに、手順 1 で外したカバーを取り付けます。



8. 手順 3 で外したコントローラーを反対側のアームレストに取り付けます。

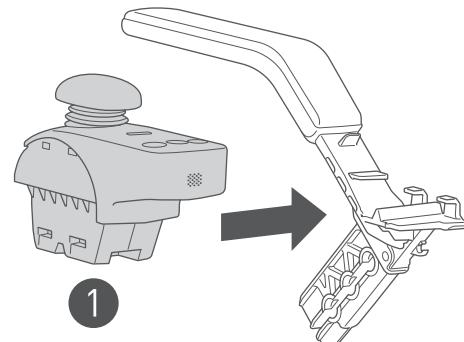
① コントローラーの凹部を、アームレストの凸部に合わせて差し込みます。

② 手順 5 で外したネジと金具を取り付け、ネジを締めてコントローラーを固定します。

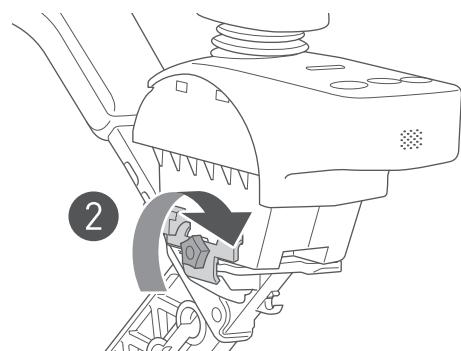
3



取り付けたコントローラーを上下左右に動かして、固定されていることを確認してください。

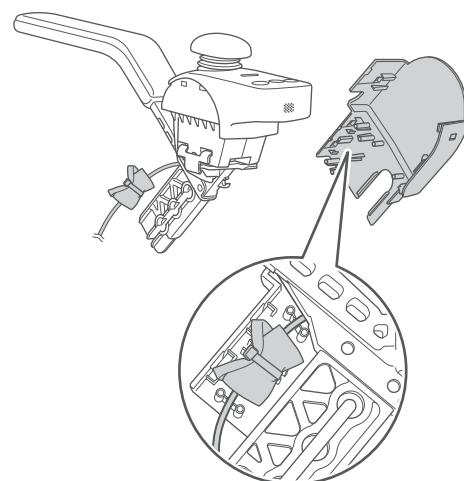


1

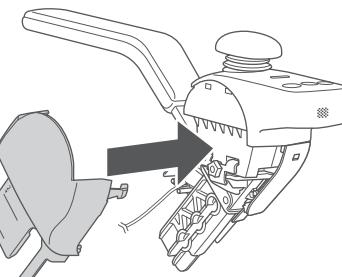


2

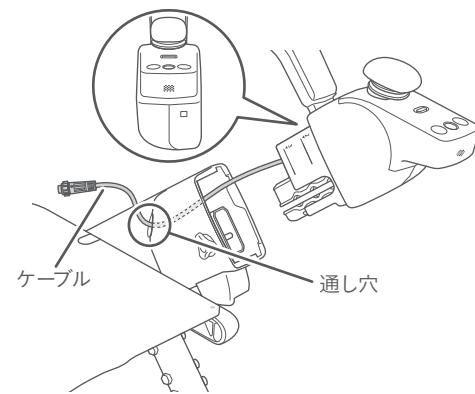
9. 手順 2 で外したケーブルを、手順 4 で外したカバーの内側に取り付けます。



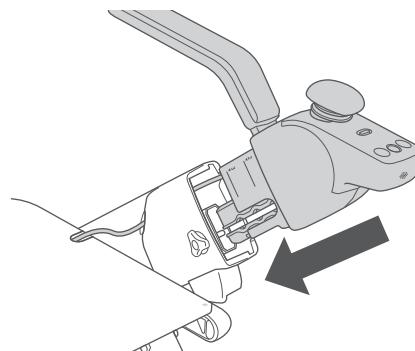
10. コントローラーを取り付けた側のアームレストに、手順 4 で外したカバーを取り付けます。



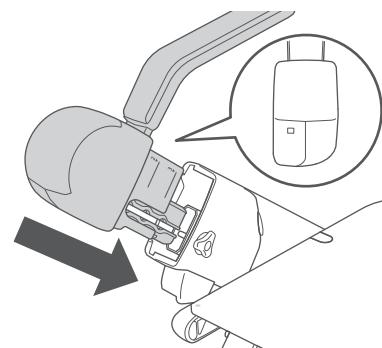
11. 手順 10 で組み立てたアームレスト（コントローラー付属）のケーブルを、本体左側にある通し穴に通します。



12. 手順 10 で組み立てたアームレスト（コントローラー付属）を本体左側に取り付けます。



13. 手順 7 で組み立てたアームレスト（コントローラーなし）を本体右側に取り付けます。



## ■ 取り付けパターン 4

i

ここでは下記の仕様で使用したい場合について説明します。

コントローラーの位置

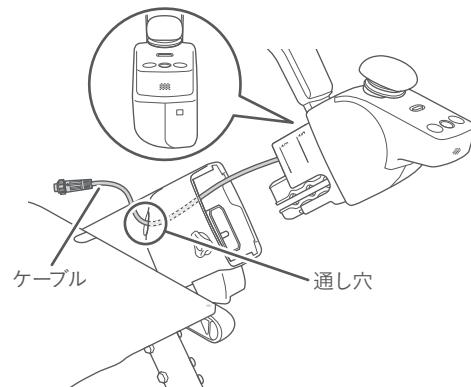
左側

アームレストの間隔

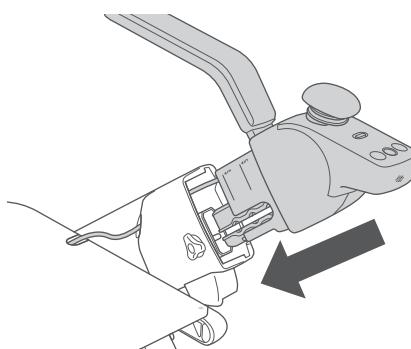
ゆったり

3

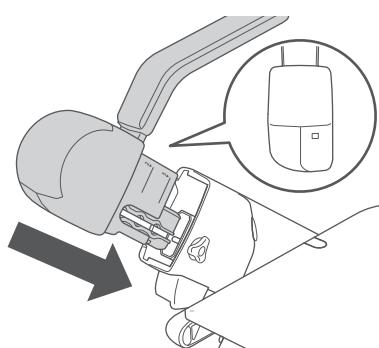
1. アームレスト（コントローラー付属）のケーブルを、本体左側にある通し穴に通します。



2. アームレスト（コントローラー付属）を本体左側に取り付けます。



3. アームレスト（コントローラーなし）を本体右側に取り付けます。



## 3.2.5. アームレストの高さ調整

## ⚠ 注意



- アームを上下に動かす際は、指を挟まないように注意してください。  
怪我をするおそれがあります。



この手順では、右側のアームにコントローラーが取り付けられている例を紹介します。

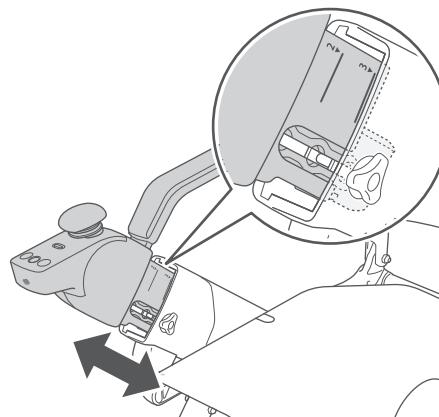
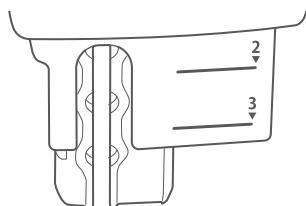
3

1. アームレストを固定する位置を変更し、好みの高さに調整します。

アームレストに記されている目盛りの位置が、アームの上端と合うように設定します。



アームレストの高さは3段階に調節可能です。



2. アーム調整ネジを締め、アームレストを固定します。



- 調整が終了したらアームレストを上下に動かし、アームレストが固定されていることを確認してください。
- アームレストのガタつきが気になる際は、アーム調整ネジをプラスドライバーで増し締めしてください。



3. 同様に、反対側のアームレストの高さを調整します。

### 3.2.6. ケーブルの接続

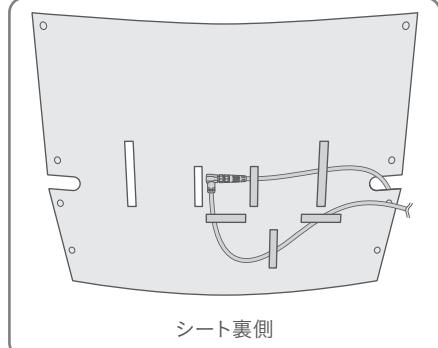
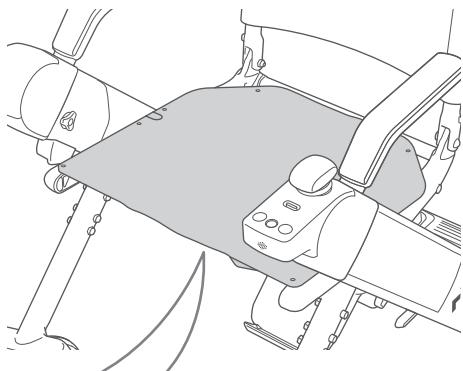
#### 1. ケーブルを配線します。

シートの裏側にあるケーブル保持バンドにケーブルを通し、配線します。



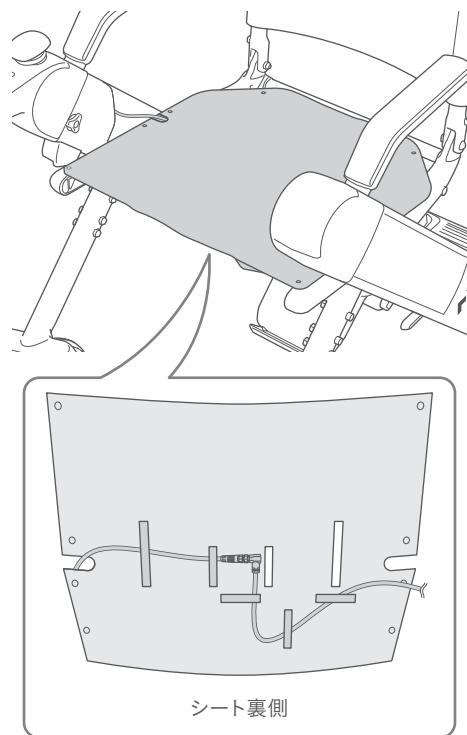
左側のアームにコントローラーが取り付けられている場合は、配線方法が変わります。

3

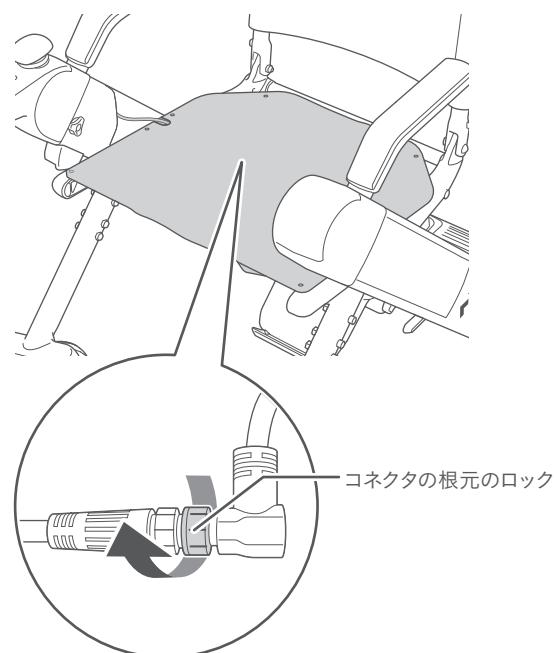


#### 2. ケーブルのコネクタをはめます。

コネクタの矢印を合わせて差し込み、コネクタの根元のロックを時計回りに回して固定します。

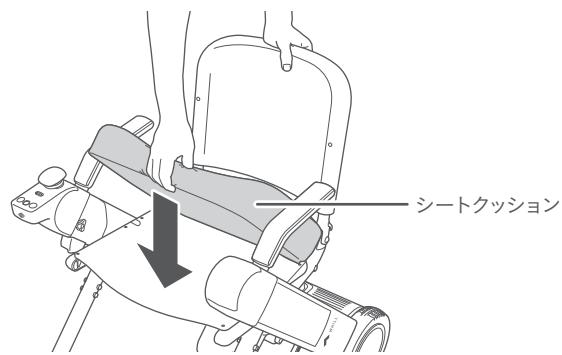


※ 図は右側にコントローラーを取り付けた場合の配線



## 3.2.7. シートクッションの取り付け

- シートクッションをシートの上に載せます。



### 3.2.8. バッテリーの取り付け

#### ⚠ 注意



- コネクタに直接触れたり、濡らしたり、金属などの異物を近づけたりしないでください。また、組み立て時には異物が付着していないかを確認してください。  
怪我または感電をしたり、本体や部品が損傷するおそれがあります。
- バッテリーと充電器は、いずれも専用です。他の充電器でバッテリーを充電したり、同梱の充電器で他のバッテリーを充電したりしないでください。  
故障のおそれがあります。

3

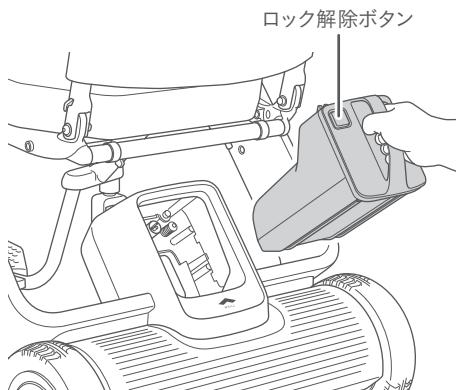


充電されたバッテリーを装着し、5秒たってから電源を入れても本体が正常に起動しない場合は、一度バッテリーを取り外し、10秒以上たってから再度バッテリーを取り付けてください。  
数回バッテリーの取り外し／取り付けを行っても使用できない場合は故障が考えられるため、取扱店またはWHILL コンタクトデスクにご連絡ください。

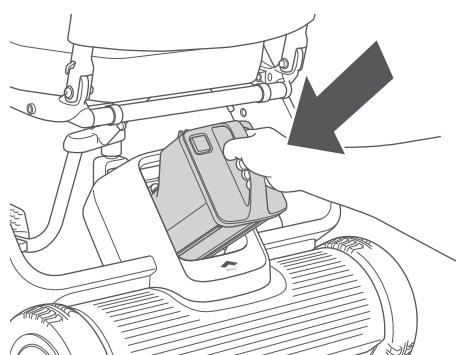
1. バッテリーのロック解除ボタンが押されていないことを確認してください。
2. バッテリーの取っ手を持って、バッテリー取り付け部に差し込みます。



- 初めてご使用になるときは、バッテリーを充電してください。  
バッテリーの充電方法は [4.2. 充電方法] を参照してください。
- バッテリーは 2.7kg の重量があります。落とさないように注意して取り扱ってください。怪我をしたり、バッテリーが損傷するおそれがあります。



3. バッテリーをまっすぐ入れ、力チッとはまるまで差し込んでください。  
挿入しにくいときは、手前から勢いをつけて押し込んでください。  
バッテリー挿入時に違和感がある場合は、バッテリーコネクタ部分にキャップがついている可能性や、異物が侵入しているおそれがあります。  
ライトで照らすなどして、それらの有無をお確かめください。  
異物があった場合は、小さなブラシなどを用いて取り除いてください。



### 3.3. 調整方法

本製品は、使用者の体に合わせて、以下の調整を行うことができます。

- ・アームレストの高さ：「3.3.1. アームレストの高さ調整」(42 ページ)
- ・アームレストの間隔：「3.3.2. アームレストの間隔変更」(44 ページ)
- ・コントローラーの左右交換：「3.3.3. コントローラーの左右位置変更」(47 ページ)

#### ⚠ 警 告



- 調整は、バッテリーを取り外し、ブレーキをかけた状態で、平坦な場所で行ってください。  
思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- コネクタの金属端子に直接触れたり、濡らしたり、金属などの異物を近づけたりしないでください。また、組み立て時には異物が付着していないかを確認してください。  
怪我または感電をしたり、本体や部品が損傷するおそれがあります。

3

#### ⚠ 注 意



- 調整の際は、本書で説明している持ち手部分を持ち、ほかの部分は持たないでください。  
手を挟んで怪我をするおそれがあります。
- 安全に使用するために、以下に注意して調整してください。  
思わぬ事故が発生するおそれがあります。
  - ・ 必ず体に合うように調整してからご使用ください。
  - ・ 調整時のネジの締め忘れや締めすぎに気をつけてください。
  - ・ 調整を行う際は必ず本体から降りてください。
- アームレストやその他の部品を本体に取り付け・取り外す際は無理に力を加えないように気をつけてください。  
怪我をしたり、部品が破損するおそれがあります。
- アームレストの取り付け、高さ調整でアームを上下に動かす際は、指を挟まないように注意してください。  
怪我をするおそれがあります。



- コントローラーを投げる、踏むなどして強い衝撃を加えたり、水に浸さないでください。  
スイッチやコントローラーが破損し、本体の操作ができなくなる可能性があります。
- コントローラーのディスプレイを引っ搔いて傷をつけたり、汚れた手で触らないでください。  
ディスプレイの表示が見えなくなるおそれがあります。
- コントローラーは分解しないでください。  
コントローラーが故障する原因となります。
- コントローラーを振らないでください。  
コントローラーが故障する原因となります。

### 3.3.1. アームレストの高さ調整

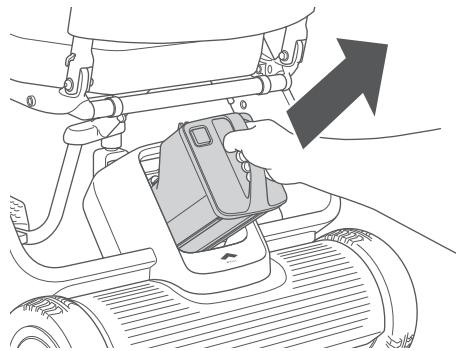


この手順では、右側のアームにコントローラーが取り付けられている例を紹介します。

3

#### 1. バッテリーを取り外します。

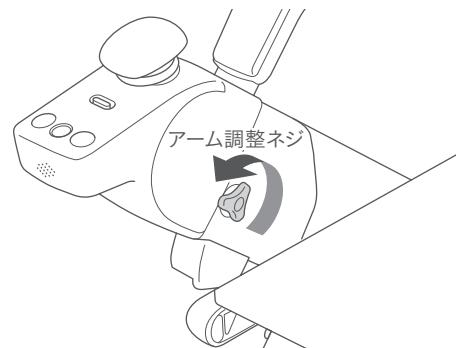
取り外し方法については、「4.1.1. バッテリーの取り外し」(53 ページ) を参照してください。



#### 2. アーム調整ネジをゆるめます。



増し締めしたアーム調整ネジをゆるめる場合は、プラスドライバーを使用してください。

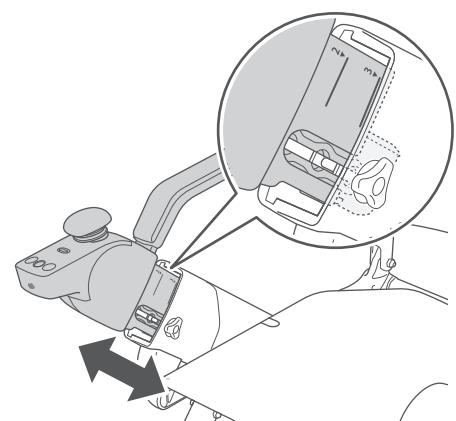
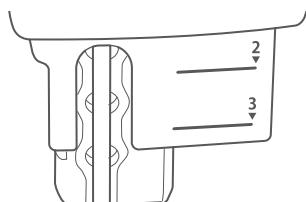


#### 3. アームレストを固定する位置を変更し、お好みの高さに調整します。

アームレストに記されている目盛りの位置が、アームの上端と合うように設定します。



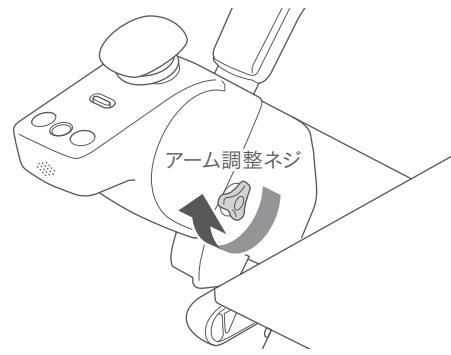
アームレストの高さは 3 段階に調節可能です。



4. 手順 2 でゆるめたアーム調整ネジを締め、アームレストを固定します。



- 調整が終了したらアームレストを上下に動かし、アームレストが固定されていることを確認してください。
- アームレストのガタつきが気になる際は、アーム調整ネジをプラスドライバーで増し締めしてください。

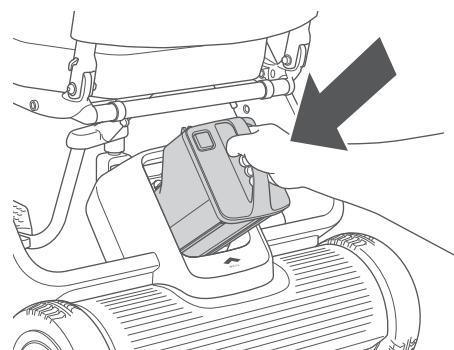


5. 同様に、反対側のアームレストの高さを調整します。

6. バッテリーを取り付けます。

取り付け方法については、「3.2.8. バッテリーの取り付け」(40 ページ) を参照してください。

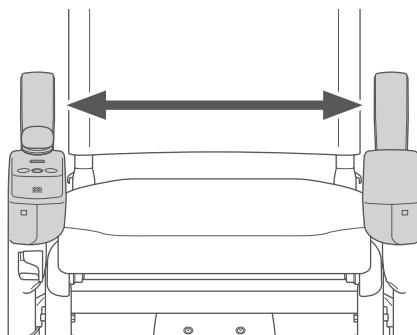
3



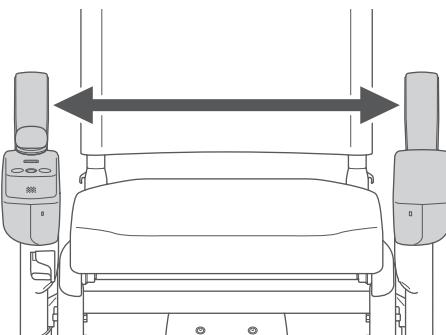
### 3.3.2. アームレストの間隔変更

取り付け方法を変えることで、アームレストの間隔を広げることが可能です。

3



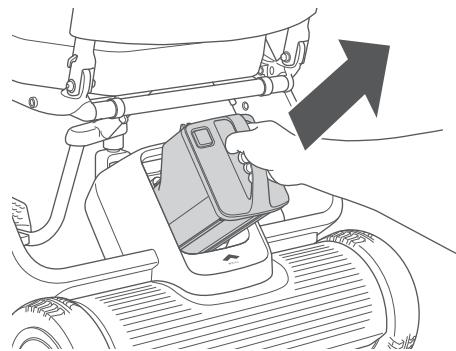
標準：コントローラーが内側に出っ張る状態  
(間隔 430 mm)



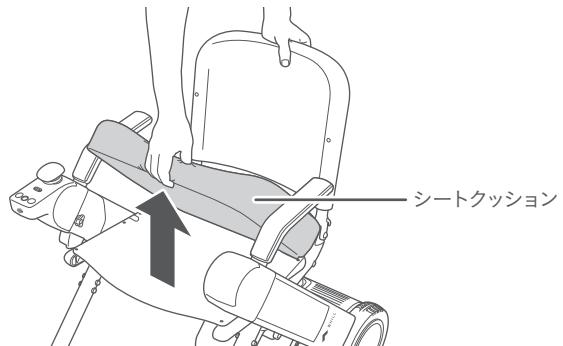
ゆったり：コントローラーが外側に出っ張る状態  
(間隔 480mm)

#### 1. バッテリーを取り外します。

取り外し方法については、「4.1.1. バッテリーの取り外し」(53 ページ) を参照してください。



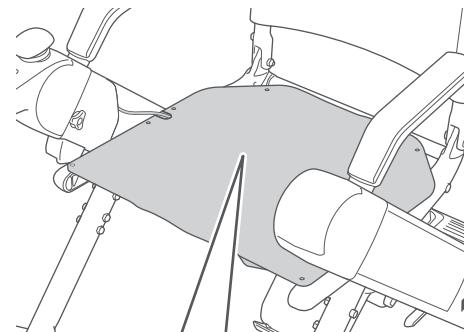
#### 2. シートクッションをシートから取り外します。



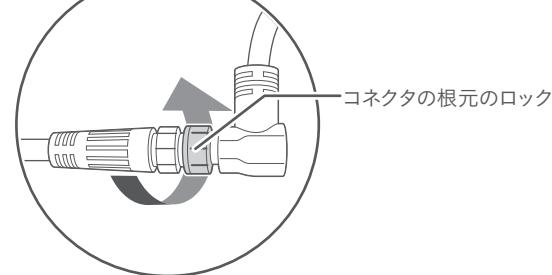
## 3. シートの裏側にあるケーブルのコネクタを外します。



- コネクタを外す際は、コネクタの根元のロックを回してください。それ以外は回さないでください。
- コネクタを外す際は、強く引っ張らないでください。ケーブルが断線するおそれがあります。



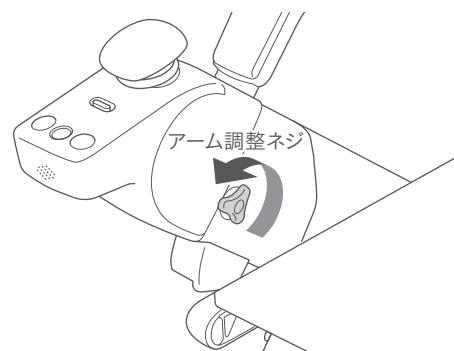
3



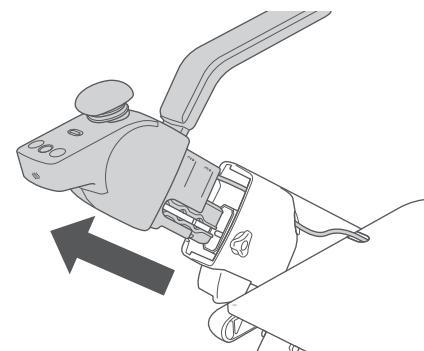
## 4. アーム調整ネジをゆるめます。



- 増し締めしたアーム調整ネジをゆるめる場合は、プラスドライバーを使用してください。



## 5. アームレストを取り外します。



## 6. 同様に、反対側のアームレストを取り外します。

## 7. コントローラーと先端パーツをアームレストから取り外します。

取り外し方法については、「3.2.4. アームレストの取り付け」の「■取り付けパターン2」(26ページ)の手順1から手順5を参照してください。

8. コントローラーを反対側のアームレストに取り付けます。同様に、先端パーツも反対側のアームレストに取り付けます。

取り付け方法については、「3.2.4. アームレストの取り付け」の「■取り付けパターン 2」(26 ページ) の手順 6 から手順 10 を参照してください。

9. それぞれのアームレストを本体に取り付けます。

取り付け方法については、「3.2.4. アームレストの取り付け」の「■取り付けパターン 2」(26 ページ) の手順 11 から手順 13 を参照してください。

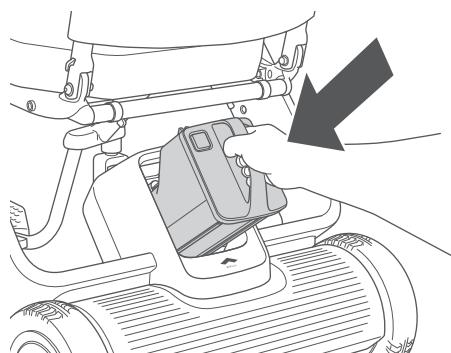
10. アーム調整ネジを締め、アームレストを固定します。

11. ケーブルを接続します。

ケーブルの接続方法については、「3.2.6. ケーブルの接続」(38 ページ) を参照してください。

12. バッテリーを取り付けます。

取り付け方法については、「3.2.8. バッテリーの取り付け」(40 ページ) を参照してください。



13. 電源を入れて、本体が前後左右に問題なく動くことを確認します。



ディスプレイにエラー表示が出る場合は、「10. トラブルシューティング」(102 ページ) をご確認ください。それでも解決しない場合は、取扱店または WHILL コンタクトデスクにお問い合わせください。

### 3.3.3. コントローラーの左右位置変更

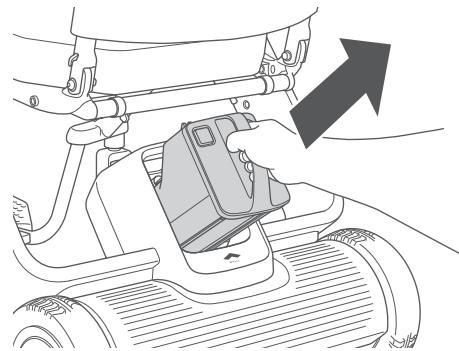
コントローラーは、左右どちらにでも付けることが可能です。



この手順では本体右側のアームに取り付けられたコントローラーを、本体左側へ変更する例を紹介します。

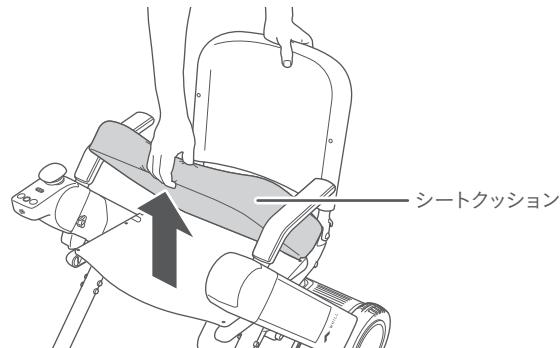
#### 1. バッテリーを取り外します。

取り外し方法については「4.1.1. バッテリーの取り外し」(53 ページ) を参照してください。



3

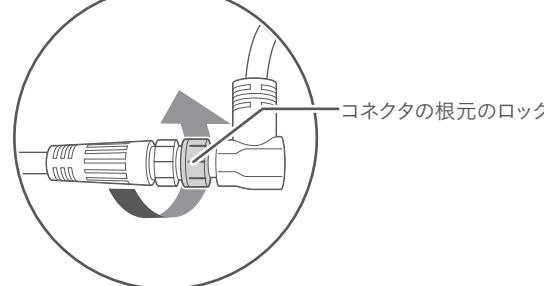
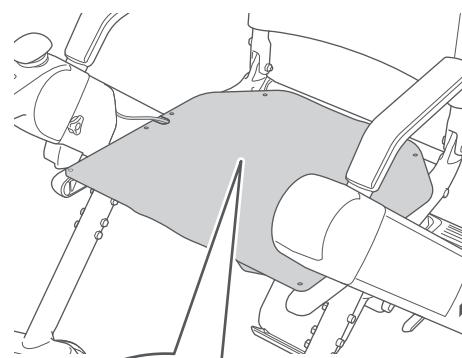
#### 2. シートクッションをシートから取り外します。



#### 3. シートの裏側にあるケーブルのコネクタを外します。



- コネクタを外す際は、コネクタの根元のロックを回してください。それ以外は回さないでください。
- コネクタを外す際は、強く引っ張らないでください。ケーブルが断線するおそれがあります。



#### 4. 両側のアームレストを取り外します。

アームレストの取り外し方法については、「3.3.2. アームレストの間隔変更」(44 ページ) の手順 3 から手順 6 を参照してください。

#### 5. コントローラーを入れ替えます。

コントローラーの入れ替え方法については、「3.2.4. アームレストの取り付け」の「■取り付けパターン 2」(26 ページ) を参照してください。

#### 6. 両側のアームレストを取り付けます。

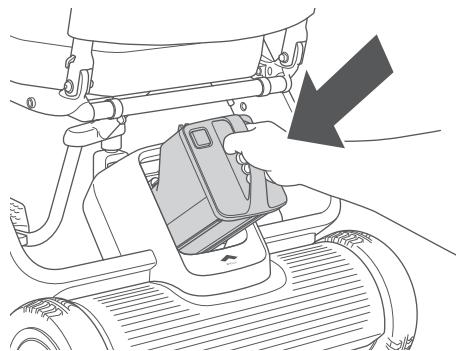
アームレストの高さ調整については、「3.2.5. アームレストの高さ調整」(37 ページ) を参照してください。

#### 7. ケーブルを接続します。

ケーブルの接続方法については、「3.2.6. ケーブルの接続」(38 ページ) を参照してください。

#### 8. バッテリーを取り付けます。

取り付け方法については、「3.2.8. バッテリーの取り付け」(40 ページ) を参照してください。



#### 9. 電源を入れて、本体が前後左右に問題なく動くことを確認します。



ディスプレイにエラー表示が出る場合は、「10. トラブルシューティング」(102 ページ) をご確認ください。それでも解決しない場合は、取扱店または WHILL コンタクトデスクにお問い合わせください。



## 4. バッテリーの充電

WHILL Model Fを初めてご使用になる前に、バッテリーを充電してください。

また、外出の前や長期間使用しなかった場合も充電してからご使用ください。

本製品は、理想的な条件で最大 20km 走行できるように設計されていますが、走行可能距離は、坂道、カーブ、段差、地形、運転習慣、荷重、温度などの走行条件により異なります。本製品を長時間使用するために、次の点に注意して使用することをお勧めします。

- ・出掛ける前に必ず満充電にしておく。
- ・荷物の重量をできる限り減らす。
- ・坂や障害物のない経路を通るように計画する。
- ・速度を一定に保ち、急停止や頻繁な停止を避ける。

### ⚠ 警 告



- バッテリー・充電器に関する本書の説明をよく読み、指示を守ってください。  
バッテリー・充電器を分解する、火気に近づける、濡らす、衝撃を与える（落とす、釘を刺す、踏む）などの行為は火災の原因となったり、バッテリーが爆発するおそれがあります。
- バッテリーの充電は、可燃性ガスのないよく換気された環境で、本体の 2 倍以上のスペースを確保して行ってください。  
可燃性ガスで満たされていたり換気が不十分であったりした場合、爆発やその他の事故を引き起こすおそれがあります。
- 外形に損傷が見られたり、動作などに異常を感じたら速やかに使用・充電を中止し取扱店へお問い合わせください。  
感電、ショート、発火の恐れがあります。



- バッテリー・充電器は、絶対に分解しないでください。  
爆発するおそれがあります。
- 本製品のコネクタには絶対に触れないでください。  
重傷、感電を招くおそれがあります。また、本製品の保証が無効になります。

### ⚠ 注 意



- 長期間使用しない場合は、必ず満充電にしてから保管してください。また、少なくとも 1 カ月に 1 回は必ず充電してください。  
バッテリーが過放電して、使用できなくなる可能性があります。
- 充電ポートを使用しないときは、必ずキャップを閉めてください。  
異物が侵入し、ショートする可能性があります。
- 充電後は充電コネクタをバッテリーから外してください。  
充電コネクタを長時間バッテリーに接続したままにしておいた場合、バッテリーが劣化するおそれがあります。



- バッテリーと充電器は、いずれも専用です。指定していない充電器での充電や、指定していないバッテリーの充電はしないでください。  
故障のおそれがあります。
- キャップが破損、ひび割れた状態では使用しないでください。  
感電、ショート、発火のおそれがあります。



- 充電されたバッテリーを装着し、5秒たってから電源を入れても本体が正常に起動しない場合は、一度バッテリーを取り外し、10秒以上たってから再度バッテリーを取り付けてください。
- 充電器は屋内専用です。屋外でバッテリーを充電しないでください。
- 本製品は、低温（0°C以下）の環境でバッテリーの温度が著しく低下すると、減速します。その場合、平地での走行速度は最大でも時速4kmに制限されます。バッテリーの温度は気温や周囲環境と同じではありませんが、走行前にバッテリーを0°C以下の環境に長時間放置しないようにしてください。
- バッテリー低温時に急勾配の坂を上ろうとすると停止することもあります。
- バッテリーが満充電に近い状態で下り坂を走行すると、減速します。バッテリーの温度が低いほど、大きく減速します。
- 使用後は、毎回充電するよう心がけてください。次回乗車時に満充電のバッテリーを使用することにより、バッテリー残量不足になることを防止できます。緊急の場合、満充電でなくても使用いただけますが、バッテリーの残量が不足すると、走行中に立往生するおそれがあります。
- バッテリーに関するお問い合わせは、取扱店またはWHILLコンタクトデスクまでご連絡ください。

## 4.1. バッテリー、充電器について

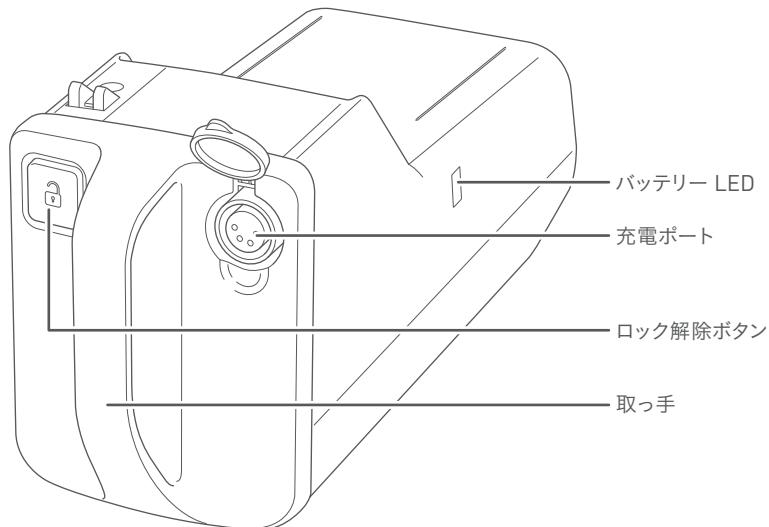
### ■ バッテリー

本製品は、電圧 25.3V のリチウムイオンバッテリーを使用しています。

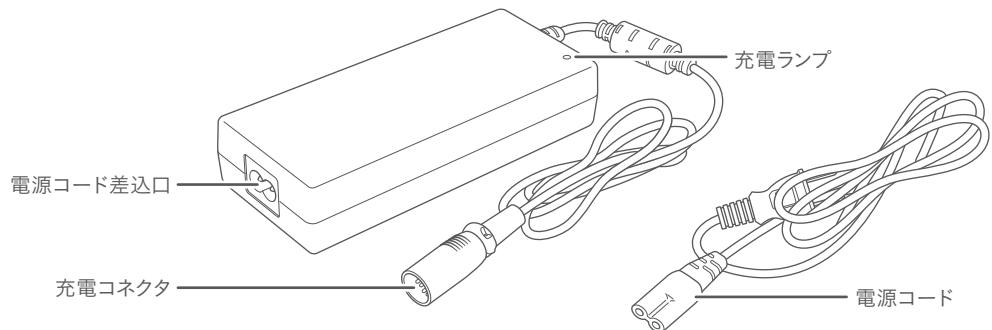


バッテリーを廃棄する際は、取扱店やリサイクル協力店へお持ちください。

4



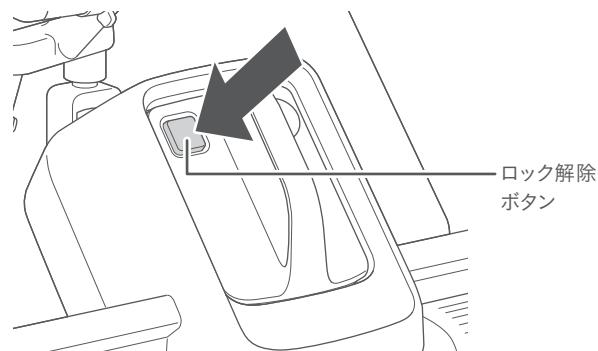
### ■ 充電器



## 4.1.1. バッテリーの取り外し

1. 本体の電源が切れていることを確認します。

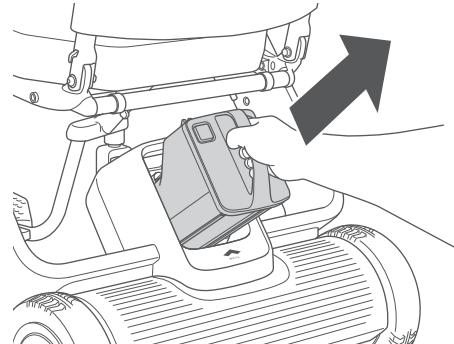
2. バッテリーのロック解除ボタンを押します。



3. 取っ手を持って手前に引き、バッテリーを取り外します。



バッテリーは 2.7kg の重量があります。落とさないよう注意して取り外してください。怪我をしたり、バッテリーが損傷するおそれがあります。



## 4.2. 充電方法

初めてご使用になるときや、外出の前、長期間使用しなかった場合は、必ずバッテリーを充電してからご使用ください。

バッテリーを充電するには、本体にバッテリーを取り付けたまま行う場合と、バッテリーを本体から取り外して行う場合の2通りの方法があります。

### ⚠ 警 告



- 家庭用電源で充電してください。

感電や、ショート、発火の原因となります。100-240V、50-60Hzの壁面コンセントを使用して充電してください。



- 充電中、充電直後のバッテリーや充電器に触れないようにしてください。

低温やけどのおそれがあります。

- コネクタに直接触れたり、濡らしたり、金属などの異物を近づけたりしないでください。

怪我または感電をしたり、本体や部品が損傷するおそれがあります。

- 充電器には、延長コードを使用しないでください。

感電や、ショート、発火の原因となります。

- 電源コードは、無理な力で引っ張らないでください。

感電や、ショート、発火の原因となります。

- 濡れた手で充電しないでください。

感電するおそれがあります。

### ⚠ 注 意



- 温度 0 ~ 40°C の環境で充電してください。

指定以外の温度環境では充電ができない場合があります。また、バッテリーの劣化や損傷につながるおそれがあります。

- 長期間使用しない場合は、必ず満充電にしてから保管してください。また、少なくとも1カ月に1回は必ず充電してください。

バッテリーが過放電して、使用できなくなる可能性があります。



- ブレーキが解除された状態でバッテリーを充電しないでください。

本体が動き、思わぬ事故が発生するおそれがあります。

- 本製品に同梱されている充電器と電源コード以外は使用しないでください。

指定以外の充電器と電源コードを使用すると、感電したり、充電器が発熱してやけどをするおそれがあります。また、本製品に同梱されている充電器と電源コードを本製品以外で使用することはできません。



- ・本製品はバッテリーを充電しながら使用することはできません。
- ・充電時間の目安は、約 5 時間です。
- ・充電器は過充電を防止できるように設計されています。5 時間以上コンセントに差し込んでも製品を損傷する心配はありませんが、安全のため、長時間壁面コンセントに充電器を差し込んでおくことは避けてください。
- ・充電完了後は、速やかにバッテリーから充電コネクタを取り外してください。
- ・充電後の使用可能時間が異常に短くなるなど、寿命が近づいてバッテリーの交換が必要であると思われる場合は、取扱店または WHILL コンタクトデスクにご連絡ください。

#### 4.2.1. バッテリーを本体に取り付けたまま充電する場合

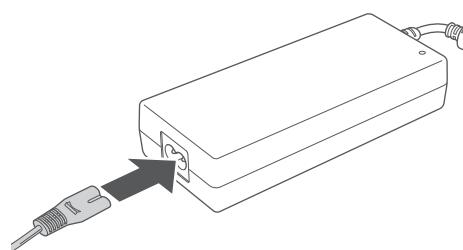
安全のため、充電中に本体の電源を入れることはできません。

1. 本体をコンセントの近くに移動させます。

2. 本体の電源を切ります。

3. 充電器と電源コードを接続します。

4

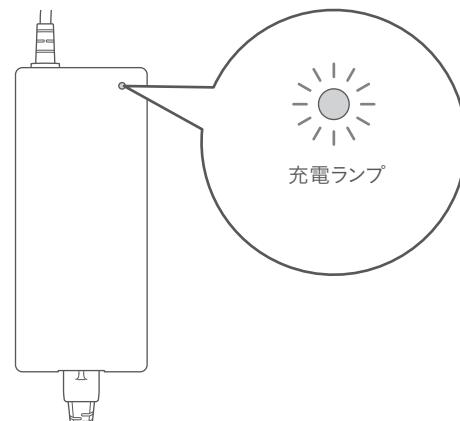


4. 壁面コンセントに充電器のプラグを差し込みます。

充電ランプが赤点灯します。



充電ランプが赤点灯する場合は、充電器がコンセントに接続され、バッテリーには接続されていない状態を示しています。



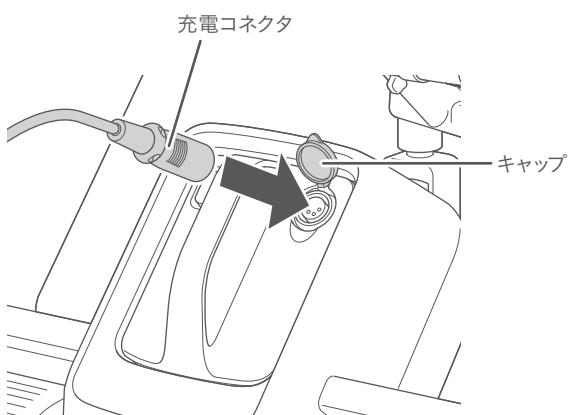
5. 充電ポートのキャップを外し、充電コネクタをバッテリーの充電ポートに接続します。

充電コネクタの内側にある端子と充電ポートの穴の位置が合うように接続してください。

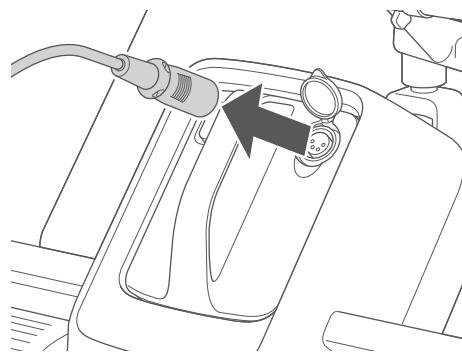
充電ランプが緑点滅し、充電が開始されます。



- 充電ランプが赤点滅する場合は、きちんと接続されていません。再度、接続し直してください。
- 数回接続し直しても充電ランプが赤点滅する場合は、バッテリーまたは充電器の故障が考えられます。
- バッテリーが満充電ではない状態で、充電ランプがすぐに緑点灯する場合、別の充電器を使用している可能性があります。充電ランプが緑色に点滅することを確認してください。



6. 充電ランプが緑点灯したら、充電完了です。
7. まず、バッテリーから充電コネクタを抜き、次に壁面コンセントからプラグを外します。



8. 充電ポートのキャップを閉じます。

#### 4.2.2. バッテリーを外して充電する場合

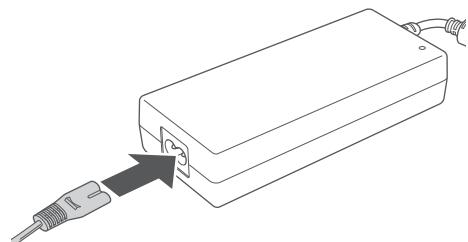
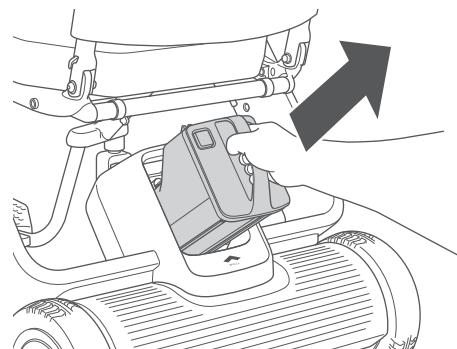
1. 本体の電源が切れていることを確認します。

2. バッテリーを取り外します。

取り外し方法については、「4.1.1. バッテリーの取り外し」(53 ページ) を参照してください。

4

3. 充電器と電源コードを接続します。

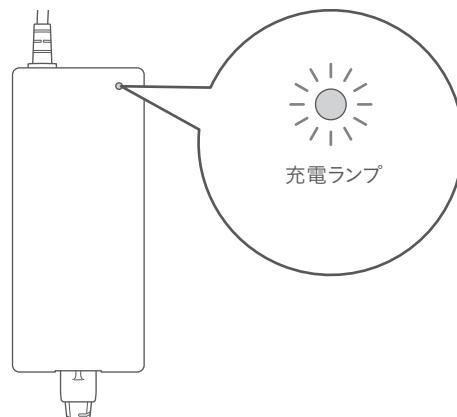


4. 壁面コンセントに充電器のプラグを差し込みます。

充電ランプが赤点灯します。



充電ランプが赤点灯する場合は、充電器がコンセントに接続され、バッテリーには接続されていない状態を示しています。



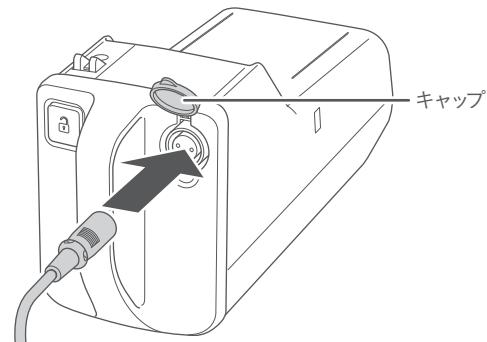
5. 充電ポートのキャップを外し、充電コネクタをバッテリーの充電ポートに接続します。

充電コネクタの内側にある端子と充電ポートの穴の位置が合うように接続してください。

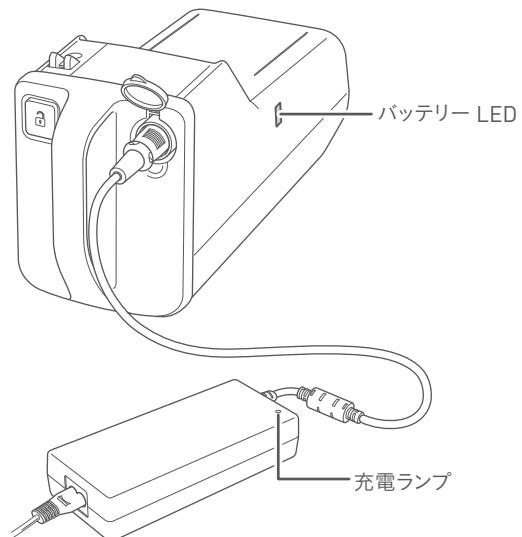
充電ランプが緑点滅し、充電が開始されます。

バッテリー充電の状態はバッテリー LED で確認できます。

- ・満充電：緑色
- ・約 30% ～満充電未満：オレンジ色
- ・約 30% 未満：赤色
- ・残量なし：紫色



- ・充電ランプが赤点滅する場合は、きちんと接続されていません。再度、接続し直してください。
- ・数回接続し直しても充電ランプが赤点滅する場合は、バッテリーまたは充電器の故障が考えられます。
- ・バッテリーが満充電ではない状態で、充電ランプがすぐに緑点灯する場合、別の充電器を使用している可能性があります。



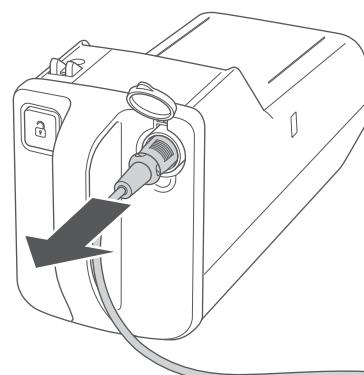
4

6. 充電ランプが緑点灯およびバッテリー LED が緑点灯したら、充電完了です。



バッテリー LED は充電完了後、一定時間が経過すると消灯します。

7. まず、バッテリーから充電コネクタを抜き、次に壁面コンセントからプラグを外します。

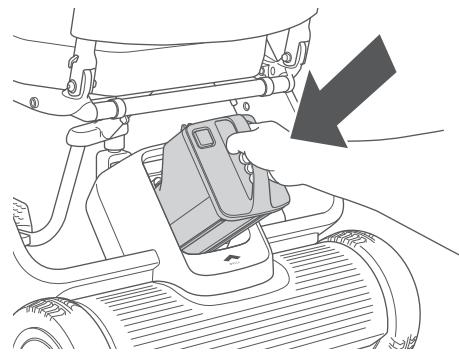


8. 充電ポートのキャップを閉じます。

---

9. バッテリーを取り付けます。

取り付け方法については、「3.2.8. バッテリーの取り付け」  
(40 ページ) を参照してください。



### 4.2.3. 充電ランプの表示

充電器の充電ランプは、状況に応じて以下のように点灯／点滅します。

- 緑点滅：充電中
- 緑点灯：充電完了
- 赤点灯：スタンバイ状態
- 赤点滅：充電エラー※

※充電ランプが赤点滅している場合は充電できません。

壁面コンセントからプラグを抜いて、充電ランプが消灯してから再度プラグを接続してください。

それでも解決しない場合は、取扱店またはWHILL コンタクトデスクにお問い合わせください。

## 5. 操作方法

ここでは、本体の乗車や操作方法、運転方法などについて説明します。

### ⚠ 警 告



- コントローラーに座ったり、折りたたんだ状態でコントローラーを地面側にして置くなどして、コントローラーに過度な負荷をかけないでください。また、コントローラーやスイッチを強い力で押したり、鋭利なもので操作しないでください。

コントローラーやスイッチが破損して、本体の操作ができなくなる可能性があります。

### ⚠ 注 意



- 長期間使用しない場合は、必ず満充電にしてから保管してください。また、少なくとも 1 カ月に 1 回は必ず充電してください。

バッテリーが過放電して、使用できなくなる可能性があります。



- 本製品は電気製品です。防水性能は「生活防水（IPX4）」となりますので、故障を防ぐため、できる限り雨天時のご利用は避けてください。
- 初めて本体を使用するときは、どなたかがそばにいる環境で使用されることを推奨します。

## 5.1. 乗車前点検

### ⚠ 警 告



#### ● 乗車前に、毎回以下の点検を行ってください。

問題があるまま乗車すると、怪我をしたり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。部品の交換や修理が必要な場合は、使用を中止し、取扱店またはWHILL コンタクトデスクにご連絡ください。

### ■ 点検内容

#### 1. 電源が切れた状態での点検

##### 組立

- すべての部位がきちんと組み立てられていて、なくなっていたり、壊れていたり、損傷したり緩んでいる部位がないか。

##### 機能

- コントローラーの操作部はスムーズに動かせるか。
- ブレーキを解除して手動で押すことができるか、またブレーキをかけたときに、本体を押しても動かないか。
- 折りたたみが正しく解除されているか（右側のアームの内側のロックインジケーターが赤くなっていないか）。

##### 車輪

- 表面が摩耗して、溝の深さが 0.5mm 程度になっていないか。
- 前輪または後輪に亀裂が入ったり、変形したりしていないか。
- 後輪の空気圧は適切か [ 指定空気圧 : 40PSI ] (タイヤを指で押してもタイヤが潰れないか)。

##### シート

- シートが破れていたり、過度にたるんでいないか。

#### 2. 電源を入れた状態での点検

- バッテリー残量が十分か。
- スイッチ類が機能しているか。
- ディスプレイが正しく表示されるか。
- サウンドボタンを押したときに音が聞こえるか。
- タイヤ回転時に異常な音がしないか。



上記の点検で、ご自身で解決できない異常がみられた場合は、取扱店またはWHILL コンタクトデスクにご連絡ください。

## 5.2. 乗車する

使用前に必ず本書をお読みください。内容を正しく理解してから、ご使用ください。

乗車の際は、以下に注意してください。

### ⚠ 警 告



- 本体への乗り降りは、平坦で水平な場所で行ってください。  
思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- 本体へ乗り降りする際は、本体の電源を切ってください。  
コントローラーに誤って触れたときに、本体の誤動作を引き起こす可能性があります。
- 使用前に右側のアームの内側のロックインジケーターが赤くなつておらず、正しくロックされていることを確認してください。  
走行中に不意に本体が折りたたまれて思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- 使用前に必ずブレーキがロックされていることを確認してください。また、ブレーキが解除された状態で本製品を放置しないでください。  
ブレーキが解除されていると、本体が動き出し、転倒するおそれがあります。
- 体がシートに安定しない場合は、常にシートベルト（オプション）を着用してください。  
体が本体から落下するおそれがあります。お使いの製品がシートベルトを装備していない場合は、取扱店またはWHILL コンタクトデスクまでお問い合わせください。
- 本製品の耐荷重は乗員と荷物を合わせて 115 kg です。本体は耐荷量を守って使用してください。  
製品が破損するおそれがあります。
- お手持ちのクッションを使用する場合は、安全のため、十分な難燃性を有するものをお使いください。
- 使用前に、後輪のタイヤを指で押して、空気が十分に入っていることを確認してください。  
空気圧が十分でない場合、本体が制御できなくなるおそれがあります。空気入れで空気を補充してください。[ 指定空気圧 : 40PSI ]
- コントローラーには体重をかけないでください。  
部品が外れたり、本体の操作ができなくなる可能性があります。
- フットサポートに飛び乗ったり、フットサポートの上に立つなど、フットサポートに過大な重量をかけないでください。  
本体が浮き上がり、転倒するおそれがあります。
- 走行中に衣類やマフラーなどが車輪に触れないようにしてください。  
衣類やマフラーなどが車輪に触れて巻き込まれると、怪我をしたり、動作が停止するなど本体の制御ができなくなることで、思わぬ事故が発生するおそれがあります。

 注 意

- スピードを設定・調整した後は、安全な場所で動作を確認してから走行してください。  
製品が想定外の動きをするおそれがあります。
- バックサポートは固定されていません。移乗時などは充分注意してください。  
思わぬ怪我をするおそれがあります。
- お使いの製品がシートベルト（オプション）を装備している場合は、シートベルトを着用してください。  
思わぬ怪我をするおそれがあります。
- 横方向から力をかけないでください。  
本体が滑る可能性があり危険です。横から強く押したり引いたりしないでください。



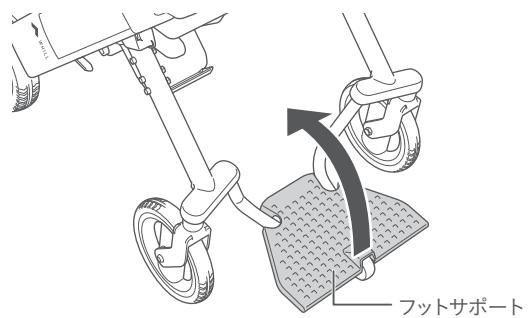
本製品の走行可能距離や走行スピードは、坂道、カーブ、段差、地形、荷重、温度などの走行条件で異なります。状況によって急停止する可能性もあります。使用中に発生するエラーについては、「10. トラブルシューティング」（102 ページ）をご確認ください。

## 5.2.1. 前方からの乗車

1. 電源が入っていないことを確認します。
2. フットサポートの先端を手で持ってフットサポートを上げます。



乗車する際はフットサポートの上に乗ったり、立たないでください。本体が転倒して、思わぬ怪我をするおそれがあります。

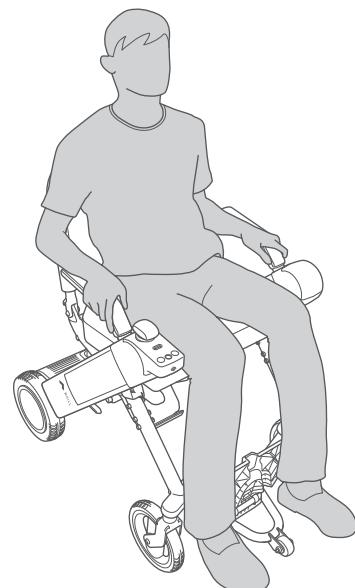


3. シートに座ります。

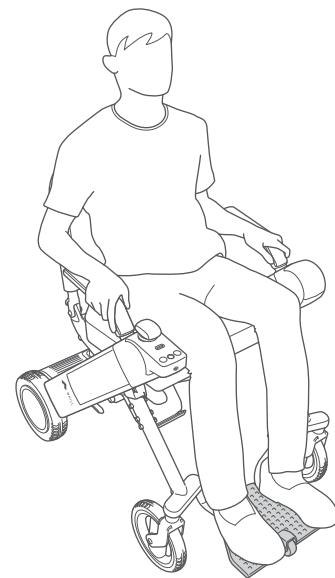
5



- コントローラーに手が触れないように注意してください。
- バックサポートは前方に倒れる仕様になっていますので、前方向に引き寄せたり、力をかけないでください。バックサポートが倒れて、思わぬ怪我をするおそれがあります。  
使用前に必ずきちんと折りたたみが解除されていることをご確認ください。
- フットサポートフレームに足を引っ掛けたり、ぶつけないように、注意してください。
- フットサポートフレームの上に乗ったり、体重をかけないでください。車体が前に傾いて転倒したり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。



4. フットサポートの先端を手で持ってフットサポートを下げます。

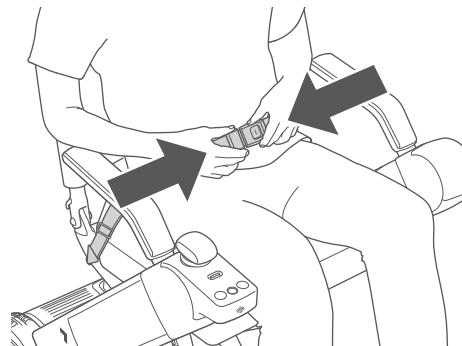


### 5.3. 骨盤ベルト（オプション）を締める

お使いの製品が骨盤ベルトを装備している場合は、骨盤ベルトを締めてください。

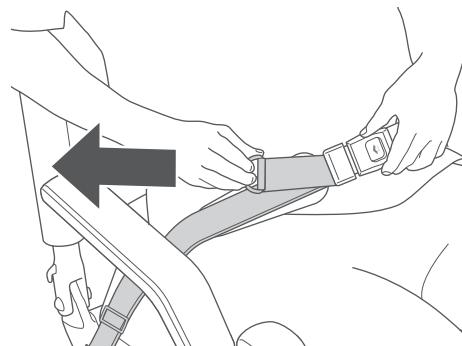
#### 1. 骨盤ベルトを締めます。

カチッと音がするまで、バックルを留めてください。



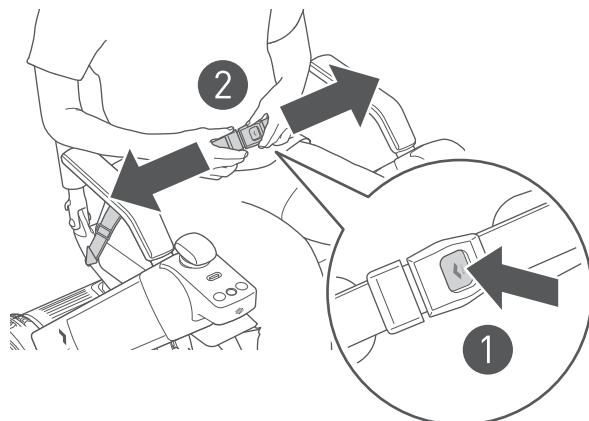
体が固定されるように、ベルトを締めて長さを調整してください。

5



#### 5.3.1. 骨盤ベルトを外す

##### 1. ① 骨盤ベルトのバックルのボタンを押して、② 骨盤ベルトを外します。



## 5.4. 電源を入れる

### ⚠ 警 告



- ブレーキをかけた状態で電源を入れてください。

ブレーキが解除されていると、本体が動き出し、転倒するおそれがあります。



- コントローラーのスイッチを強い力で押したり、鋭利なもので操作しないでください。

コントローラーが損傷し、本体の操作ができなくなる可能性があります。

### ⚠ 注 意



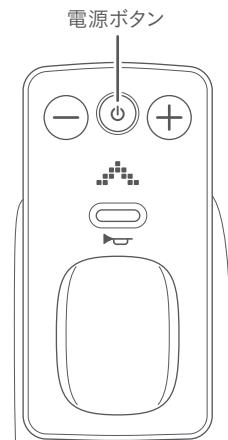
- スピードを設定・調整した後は、安全な場所で、必ず本体の動作を確認してから走行してください。

製品が想定外の動きをするおそれがあります。

#### 1. 電源ボタンを押します。

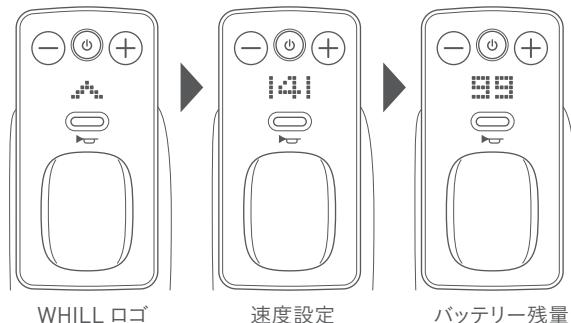


充電されたバッテリーを装着し、5秒たってから電源を入れても本体が正常に起動しない場合は、一度バッテリーを取り外し、10秒以上たってから再度バッテリーを取り付けてください。



5

電源を入れると、ディスプレイに、まず WHILL のロゴが表示され、次に現在の速度設定が表示されます。しばらくすると、バッテリー残量表示に切り替わります。  
再度、速度設定を確認したい場合は、電源を入れ直すか、速度調整ボタンを押して速度の調整を行ってください。



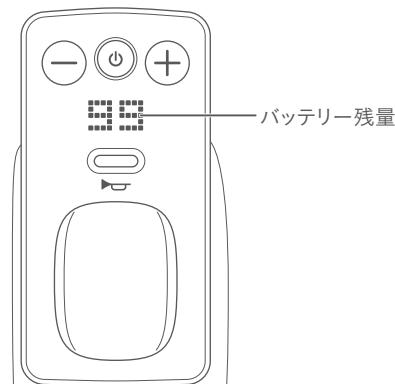
#### 5.4.1. バッテリー残量を確認する

1. バッテリー残量は、ディスプレイに 0 ~ 100 の数値が 1 刻みで表示されます。

満充電の場合は「100」と表示されます。



リチウムイオン電池の特性により、バッテリー残量の減り方は、環境やバッテリーの状態などさまざまな要因によって変化します。走行距離にかかわらず、事前にバッテリーを満充電にしたうえで使用を開始してください。



#### 5.4.2. 速度を調整する

5

1. 速度調整ボタンを操作することで、1 (遅い) から 4 (速い) の 4 段階で最高速度 (コントローラーの操作部を奥まで倒したときの速度) を調整することができます。

+のボタン：最高速度を速くする

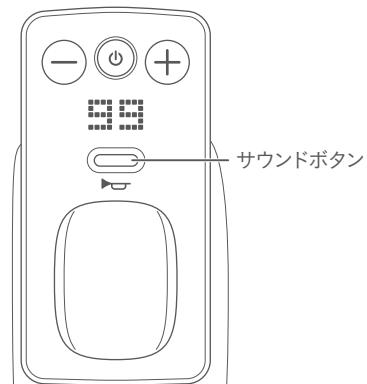
-のボタン：最高速度を遅くする

本体の速度は操作部の傾きで調整することができます。



#### 5.4.3. サウンドボタンを使用する

1. 周囲に存在を伝える場合などに、サウンドボタンを押すことで、通知音を鳴らすことができます。



## 5.5. 運転する

コントローラーの操作部を前後左右に倒すことで、任意の方向に移動することができます。操作部を倒す角度により、速度を調整することもできます。

操作部から手を離すと、自動的にブレーキがかかって停止します。

道路を運転する際は、交通法規、および交通マナーを遵守して、安全に運転してください。



運転の練習をする場合は、見通しの良い広い場所で行ってください。

### ⚠ 警 告



- バッテリーがロックされたことを確認して走行してください。  
本体との接続に異常が生じ、走行中に停止するおそれがあります。
- 走行中はフットサポートを下げ、足はフットサポートの上に置いてください。フットサポートの両端側からはみ出さないでください。  
足が地面や前輪に巻き込まれる可能性があります。
- 手袋をして操作する場合は、手袋を挟まないように注意してください。  
手袋が操作部などに挟まって誤操作の原因になる可能性があります。
- 運転する際は周囲や路面状況を十分に確認し、特に、人混みや壁際などの障害物が近くにある場所、狭い場所、また、平坦ではない道や斜面を走行する際には、低速でゆっくり走行してください。  
思わぬ事故が発生するおそれがあります。特に濡れた坂道では、本体の安定性を維持できない可能性がありますので、十分に注意してください。
- 縁石、段差、勾配、溝などには、90°の角度で進入し、低速でゆっくり走行してください。  
転倒したり、身動きがとれなくなったり、本体が変形する可能性があります。
- 走行時、周囲の物や人がコントローラーに触れないよう注意してください。  
衝突したり、転倒するおそれがあります。
- 使用者や周囲の人が、タイヤに触れることがないように走行してください。  
怪我をするおそれがあります。
- 下り坂で停止するときは、コントローラーから早めに手を離し、余裕を持って停止するように心がけてください。  
下り坂では、ブレーキの制動距離が長くなります。思った位置で停止できずに、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- 駅のプラットフォームや側溝の近くを走行する際は、端から十分安全な距離をとって走行してください。  
転落のおそれがあります。
- ブレーキの解除は必ず平坦な場所で、電源を切ってから、緊急時のみ行ってください。手動での移動が完了したらすぐにブレーキ解除レバーを上げてブレーキをロックしてください。  
ブレーキを解除すると本体が自由に動くため、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- 踏切や路面電車の線路を越える時は、線路に対して直角に進入し、線路の途中で旋回しないでください。  
線路の溝に車輪がはまり、抜け出せなくなるおそれがあります。

## ⚠ 警 告



- コントローラーやスイッチを強い力で押したり、鋭利なもので操作しないでください。  
コントローラーやスイッチが破損して、本体の操作ができなくなる可能性があります。
- 乗車中に、かがんだり、身を乗り出したり、運動したりしないでください。重心に気をつけて動作する  
ようにしてください。  
製品の安定性やバランスに影響を与える可能性があります。取りづらいものをとる場合は、周囲の人に  
介助を求めてください。
- 手に物を持ったり、膝の上に物を置いて運転しないでください。  
誤操作や転倒の可能性があります。
- 以下の場所は走行しないでください。  
転倒したり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
  - エスカレーターや階段
  - 3.5cm より高い段差
  - 10° 以上の勾配
  - 砂地や沼地などの柔らかい路面
  - 雪道や凍結した路面
- 水たまりなどを走行しないでください。  
錆びたり、ショートする可能性があります。
- 手足や荷物を本体の外に出さないでください。  
走行時にぶつけたりして怪我をするおそれがあります。
- 荷物をけん引しないでください。  
転倒するおそれがあります。
- 坂道で転倒防止ローラーが地面に接触している、または移動中に地面に接触した場合は、傾斜が本  
製品の仕様を超えた角度ですので、当該の坂道での利用は中止してください。  
転倒して怪我をしたり、本体の制御が不能となるおそれがあります。
- 3.5cm より高い縁石や段差からは降りないようにしてください。  
転倒防止ローラーが段差に引っ掛かり、走行できなくなる可能性があります。
- 走行中に衣類やマフラーなどが車輪に触れないようにしてください。  
衣類やマフラーなどが車輪に触れて巻き込まれると、怪我をしたり、動作が停止するなど本体の制御が  
できなくなることで、思わぬ事故が発生するおそれがあります。

 **注 意**


- アーム調整ネジが緩みなく締まっていることを確認してから、操作を開始してください。  
走行中にアームレストが動いたり抜けるなど、思わぬ事故が発生するおそれがあります。

- 以下の場合、本体が減速したり、一旦停止する可能性があります。

- バッテリー残量が少なくなったとき
- 走行中にバッテリーの温度が著しく低下したとき
- 低温時に坂道を高速で走行したとき
- 満充電時に急な下り坂を走行したとき
- 段差や上り坂を走行したとき

- 道路は歩道を走行してください。

本製品は、車道での使用を想定していません。車道を横断するときは、自動車のドライバーから見えているか確認し、十分注意して横断してください。



- コントローラーの操作部の交換時以外は、操作部をねじらないでください。

操作部が緩んだり破損したりする可能性があります。

- ブレーキ解除レバーを足で操作しないでください。

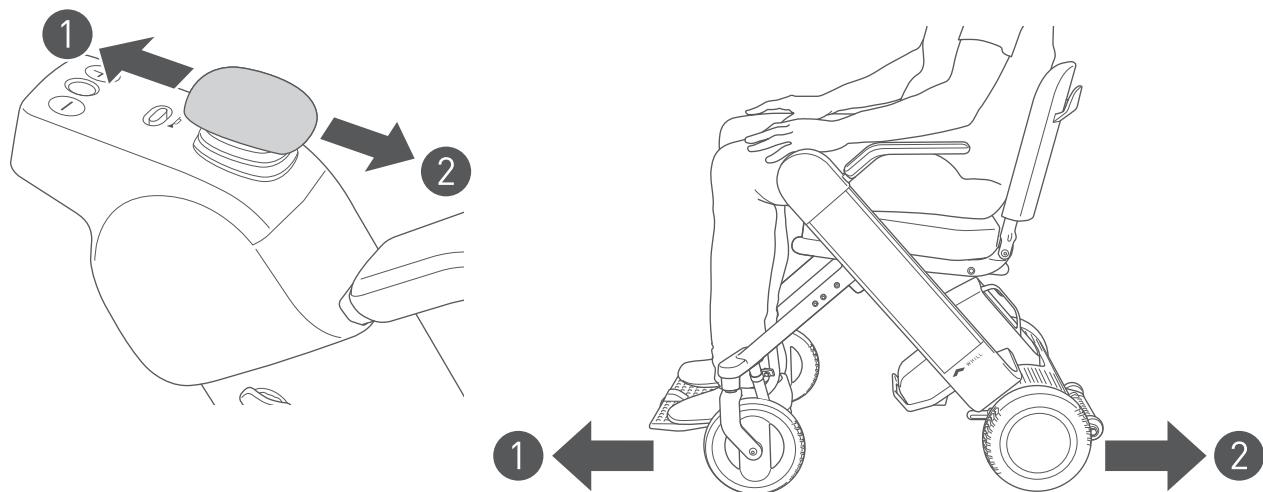
ブレーキ解除レバーが、変形したり折れたりして使えなくなるおそれがあります。



- 急な坂道を走行すると減速度合が変わることがあります。
- バッテリーの温度が低く、満充電に近い状態で下り坂を走行する場合は、減速する可能性が高くなります。
- 室内で使用する場合、床材が傷んだり、汚れたりすることがありますのでご注意ください。

### 5.5.1. 前後へ移動する

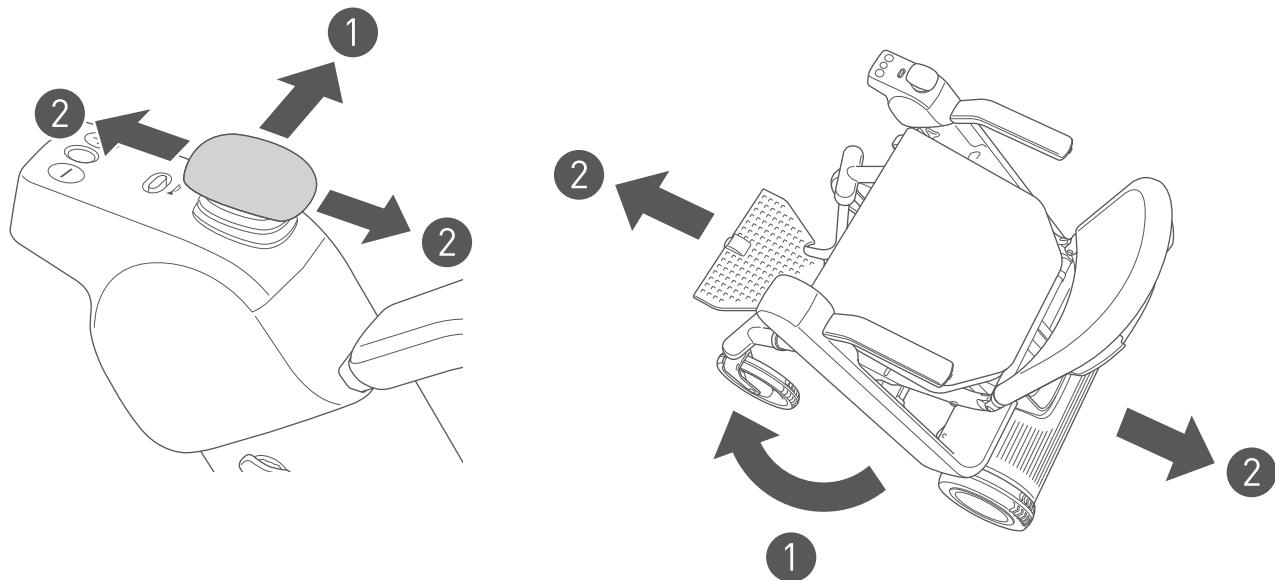
コントローラーの操作部を前に動かすと前進し、後ろに倒すと後進します。



### 5

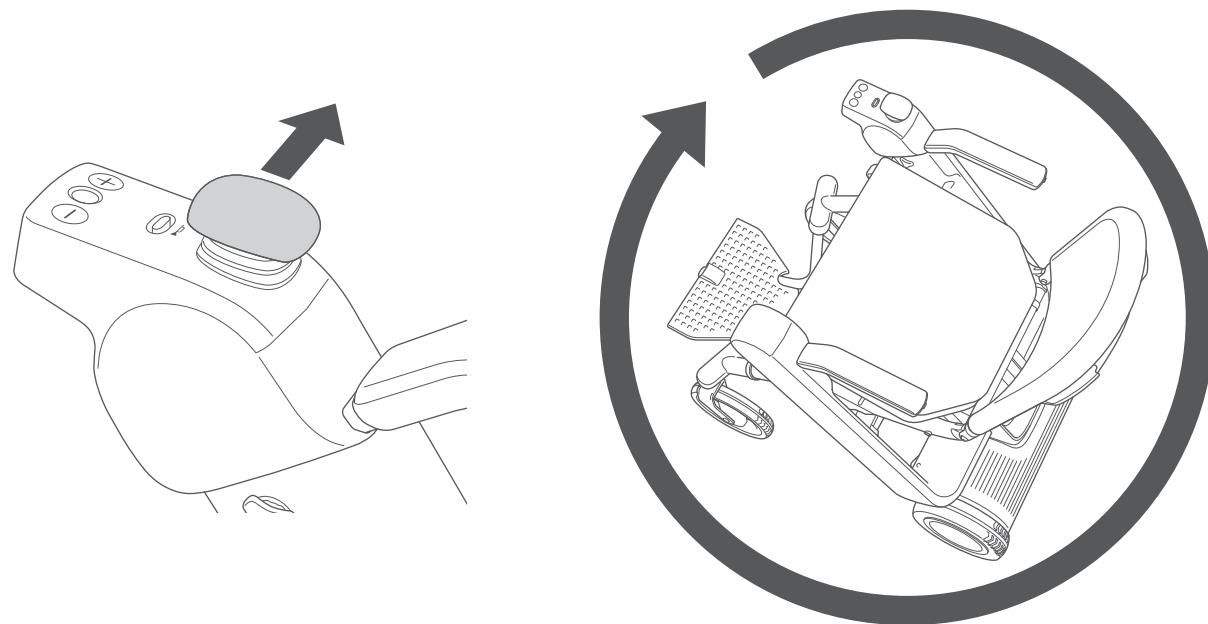
### 5.5.2. 斜め方向へ移動する

斜め方向へ移動する場合は、まず、本体を行きたい方向に向けます。その後、コントローラーの操作部をまっすぐ前後に動かし、斜め方向へ前後進します。



### 5.5.3. 回転する

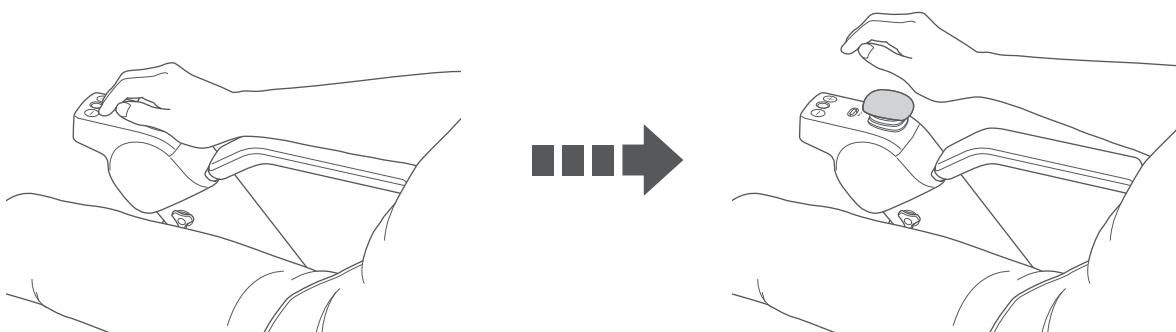
その場で回転したい場合は、コントローラーの操作部を左右いずれかに動かし続けます。



5

### 5.5.4. 停止する

コントローラーの操作部から手を離すと、自動的にブレーキがかかって停止します。

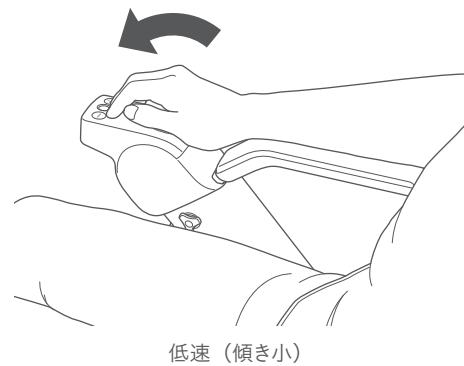
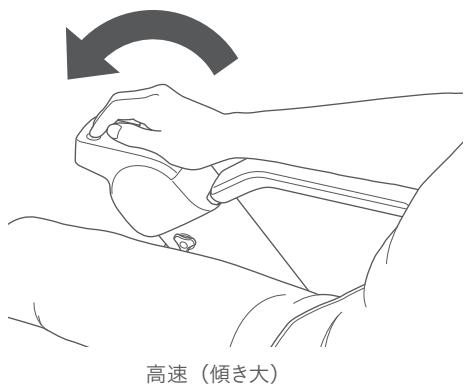


### 5.5.5. 速度を調整する

本体の速度は、コントローラーの操作部の傾きで調整することができます。

操作部の傾きを大きくすると本体の速度が上がり、小さくすると速度が下がります。

速度を連続的に調整できます。



5



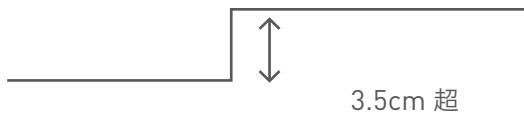
- 走行を始めるときは、コントローラーの操作部を必要なだけ押してゆっくり発進してください。
- 操作部を奥まで倒したときの最高速度は、速度調整ボタンで設定された速度によって異なります。最高速度の設定方法については、「5.4.2. 速度を調整する」(70 ページ) を参照してください。

### 5.5.6. 路面状況ごとの運転

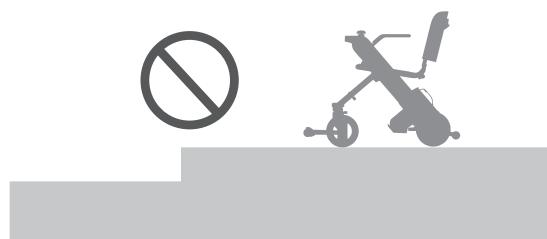
本製品は多くの路面条件で安定した走行ができます。

ただし、以下の路面状況では、走行できません。

- 3.5cm より高い段差



- 10° 以上の勾配



- 砂地や沼地などの柔らかい路面や、  
雪道や凍結した路面  
※砂利、軽い雪、草の上は走行可能



非常に急な上り坂にいる可能性がある場合には、警告が表示され、警告音が流れます。警告の詳しい内容については、「10. トラブルシューティング」(102 ページ) を参照してください。

## 5.6. ブレーキを解除する

座面の下にあるブレーキ解除レバーを下げることで、ブレーキを解除して本体を手で押して移動できるようになります。

### ⚠ 警告



- ブレーキの解除は必ず平坦な場所で、電源を切ってから、緊急時のみ行ってください。手動での移動が完了したらすぐにブレーキ解除レバーを上げてブレーキをかけてください。  
ブレーキを解除すると本体が自由に動くため、思わぬ事故が発生するおそれがあります。



- ブレーキを解除した状態での、手動での坂道の上り下りは行わないでください。  
ブレーキがかけられないため、思わぬ事故が発生するおそれがあります。

### ⚠ 注意



- ブレーキ解除後に本体を押して移動させる時は、路面状態に気をつけて手でゆっくりと押してください。  
ブレーキを解除すると本体が自由に動くため、強く押すと思わぬ方向に動く可能性があります。また、8km/h 以上の速度で本体を押すと、バッテリーに負荷がかかり故障する可能性があります。

5

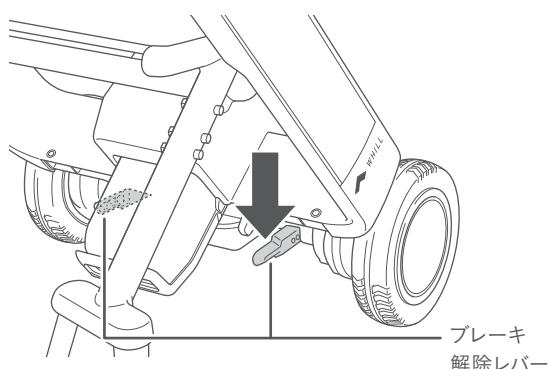
- ブレーキ解除レバー操作時は、手指を挟んだりぶつけたりしないように気をつけてください。  
怪我をするおそれがあります。



- ブレーキ解除レバーを足で操作しないでください。  
ブレーキ解除レバーが、変形したり折れたりして使えなくなるおそれがあります。

### 5.6.1. 解除方法

1. 本体の電源を切ります。
2. シート下にあるブレーキ解除レバー（左右 2 力所）を押し下げます。  
ブレーキが解除されます。ブレーキをロックするときは、ブレーキ解除レバーを上げてください。



## 5.7. 荷物を持ち運ぶ

### ⚠ 警 告



- リュックサックの肩ベルトや紐部分が、後輪に触れないようにしてください。  
動作が停止するなど本体の制御ができなくなるため、怪我をしたり思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- 車体の幅を超える荷物を掛けないよう気をつけてください。  
荷物が周囲と接触し、思わぬ事故が発生するおそれがあります。

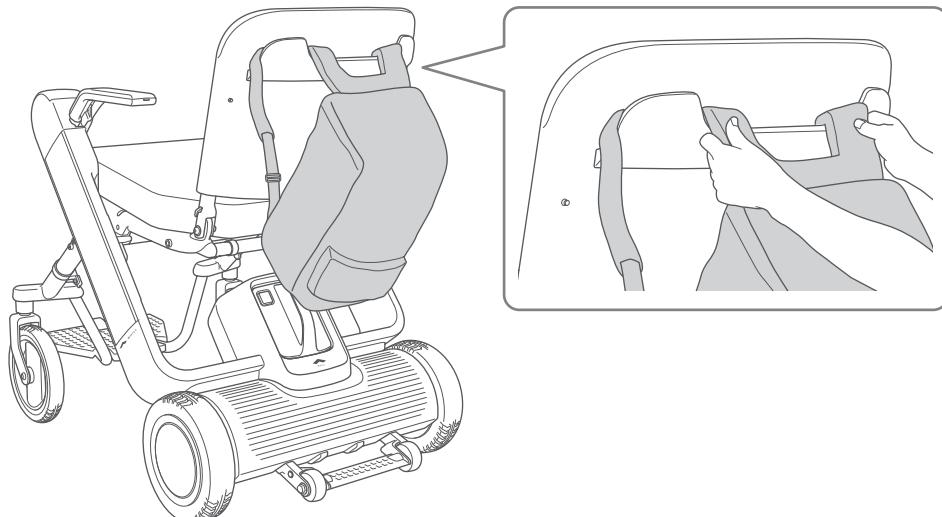
### ■ バックサポート

バックサポートにリュックサックなどを掛ける場合は、バックサポートの突起に肩ベルトを掛けてください。



- バックサポートの耐荷重は 5kg です。
- リュックサックの肩ベルトをきちんと締めたうえで、バッテリーにぶつけたり、紐部分を地面に引きずらないようにご注意ください。

5



## 6. 折りたたみ手順

### 6.1. 注意事項

ここでは、本体の折りたたみ方法・折りたたみ解除方法を説明します。

#### ⚠ 警 告

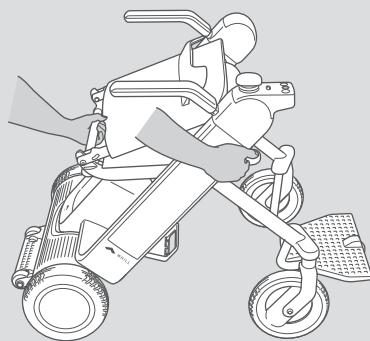


- 本体の折りたたみ・折りたたみ解除は、平坦で水平な場所で行ってください。  
思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- 本体の折りたたみ・折りたたみ解除はブレーキをかけた状態で行ってください。  
製品が想定外の動きをして、思わぬ事故が発生するおそれがあります。

#### ⚠ 注 意



- 折りたたみ・折りたたみ解除の際は、本書で説明している持ち手部分を持ち、他の部分は持たないでください。  
手足などが挟まれ怪我をするおそれがあります。



## 6.2. 折りたたみ方法

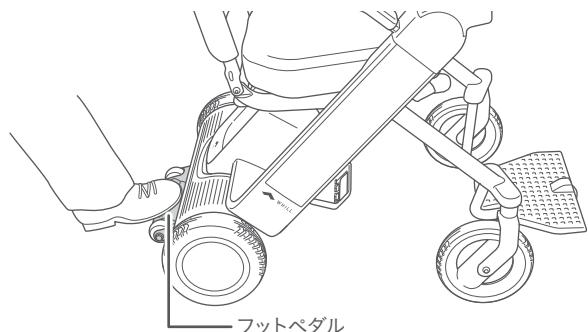
1. バックサポートを倒します。



2. フットペダルを支えて本体を固定します。



足をフットペダルの下に入れると、折りたたみの際に足を挟んで怪我をするおそれがあります。

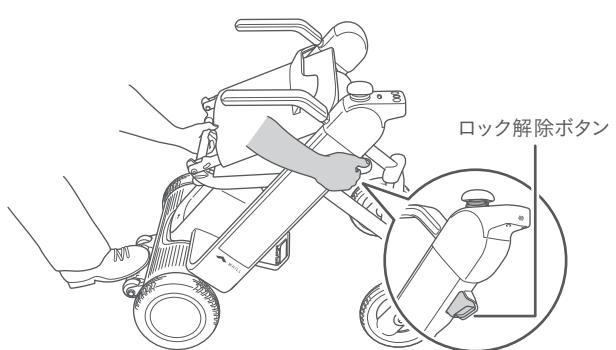


3. ロック解除ボタンを押したままの状態で維持します。



警告

本体の接続部や可動部に指などを挟むと、怪我をするおそれがあります。  
本体の組立・調整・運搬の際は、本書で説明している部分以外は触れないでください。



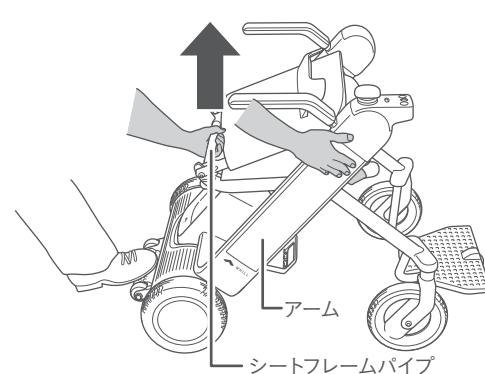
4. シートフレームパイプを上方向に引き上げます。

本体が閉じ始めたらロック解除ボタンをはなします。



警告

本体の接続部や可動部に指などを挟むと、怪我をするおそれがあります。  
本体の組立・調整・運搬の際は、本書で説明している部分以外は触れないでください。

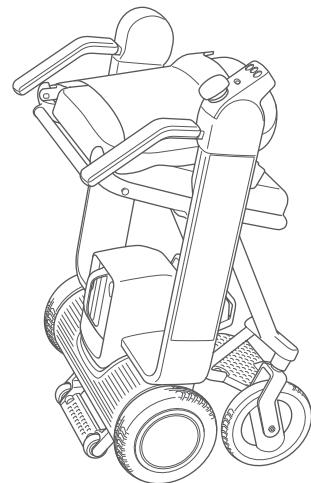


---

5. 「カチッ」と音がする位置まで本体を閉じます。

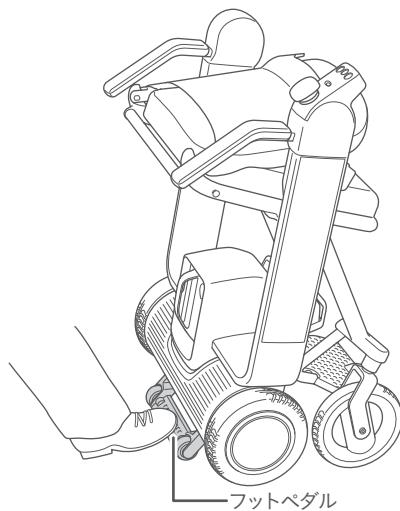


- ・前輪が後輪に接触していると折りたためない場合があります。
- ・製品を移動させる際は、周囲や路面状況を十分に確認し、衝突や落下のないよう気をつけてください。
- ・横方向から力をかけたり、引きずったりしないでください。

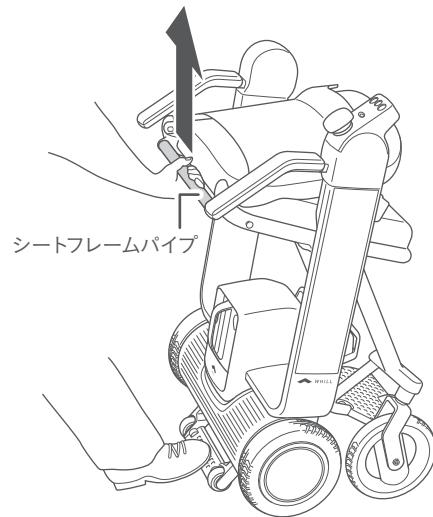


### 6.3. 折りたたみ解除方法

1. フットペダルを支えて本体を固定します。



2. シートフレームパイプを上方向に引き上げます。



3. シートフレームパイプを上方向に引き上げた状態で、ロック解除ボタンを押します。



ロック解除ボタンの誤作動防止のため、シートフレームパイプを上方向に引き上げないと、ロック解除ボタンが押し込めないように設計されています。

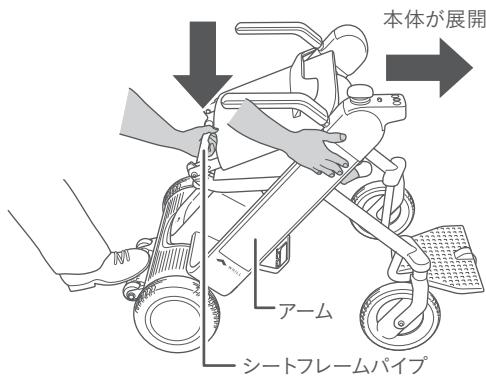


4. シートフレームパイプを下げる、本体が展開したらロック解除ボタンをはなします。  
「カチッ」と音がする位置まで本体を開きます。



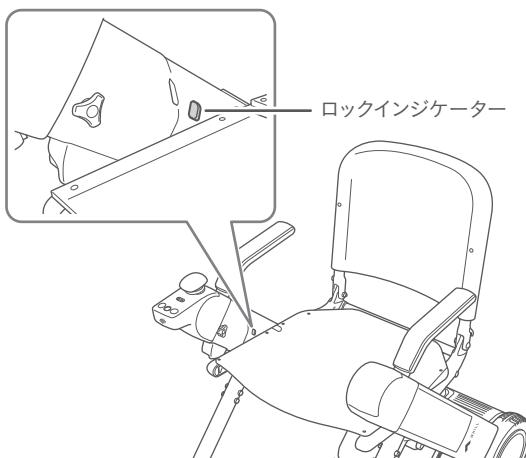
警告

本体の接続部や可動部に指などを挟むと、怪我をするおそれがあります。  
本体の組立・調整・運搬の際は、本書で説明している部分以外は触れないでください。



右側のアームの内側にあるロックインジケーターが、黒になっていることを確認してください。  
正しく展開されていない場合は、ロックインジケーターが赤になっています。

6

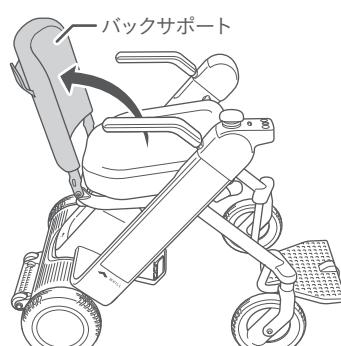


5. バックサポートを起こします。



警告

本体の接続部や可動部に指などを挟むと、怪我をするおそれがあります。  
本体の組立・調整・運搬の際は、本書で説明している部分以外は触れないでください。





# 7. 運搬・保管方法

## 7.1. 保管

本製品を保管する際は、以下にご注意ください。

- 火気の近くや可燃性ガスのある環境では保管しないでください。
- 温度 -15 ~ 40°C の場所に保管してください。  
バッテリーおよび充電器は、充電指定温度である 0°C ~ 40°C の保管を推奨します。
- 折りたたんだ状態でコントローラーを地面側にして置くなどして、コントローラーに過度な負荷をかけないでください。
- 屋内での保管、または、カバーを掛けて保管してください。

### ⚠ 警 告



- バッテリーは直射日光があたる場所や、40°C以上の場所に保管しないでください。  
バッテリーが発熱、破裂、発火し、思わぬ事故が発生するおそれがあります。

### ⚠ 注 意



- 長期間使用しない場合は、必ず満充電にしてから保管してください。また、少なくとも 1 カ月に 1 回は必ず充電してください。  
バッテリーが過放電して、使用できなくなる可能性があります。
- 埃や砂が多い場所、および海沿いや温泉地で長期間保管しないでください。  
本体に異物が侵入したり、フレームやネジが腐食する可能性があります。
- 重いものを本体に載せたまま長期間保管しないでください。  
本体が故障する原因となります。
- バッテリーや本体を傾いた場所、振動の多い場所、高い棚の上などに置かないでください。  
バッテリーや本体が破損したり、変形するおそれがあります。
- バッテリーを取り外して製品を保管する場合は、バッテリーと本体の接続部に、異物や水分を侵入させないよう十分にご注意ください。  
バッテリーや本体がショートしたり、故障する原因となります。
- 直射日光や雨にさらされる屋外に、本体を保管したり、長時間放置しないでください。  
雨水でバッテリーや本体がショートしたり、直射日光で本体が変形、劣化する可能性があります。屋内など屋根のある場所に保管してください。

### ■ 長期間保管する場合

1 カ月以上保管する場合は、本体からバッテリーを取り外し、満充電にしてから保管してください。少なくとも 1 カ月に 1 回以上はバッテリーを充電し、本体が正常に動作することを確認してください。

また、長期間使用しなかった本製品を再び使用するときは、使用する前にバッテリーを充電し、必ず本製品が正常かつ安全に動作することを確認してから使用してください。

## 7.2. 運搬

本製品を運搬する際は、以下に注意してください。

- 持ち運ぶときは、指定の持ち手部分を持つようにし、ほかの部分は持たないでください。
- 公共交通機関を利用する際は、公共交通機関のルールに従ってください。
- 本製品は、誰も乗車していない状態で、陸上輸送および航空輸送をすることができます。

### ⚠ 警告



- 人や物を乗せた状態で、製品を持ち上げないでください。本体を持ち上げる際は、必ず指定の箇所を持ち、持ち上げる際は重量に注意してください。また、バッテリーが挿入されている時に、バッテリーの持ち手を持って本体を持ち上げないでください。

体を痛めたり、落として怪我をしたり、製品が破損したりするおそれがあります。

- 本製品を自動車などの座席として使用しないでください。

製品が破損したり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。右記の記号は、本製品が自動車などの座席としては使用できないことを示しています。



- 坂道で転倒防止ローラーが地面に接触している、または移動中に地面に接触した場合は、傾斜が本製品の仕様を超えた角度ですので、当該の坂道での利用は中止してください。

転倒防止ローラーが地面に接触した状態で本体を操作することは、非常に危険であり、本体の制御が不能となるおそれがあります。

### ⚠ 注意



- 折りたたんだ状態でコントローラーを床や地面側にして置くなどして、コントローラーに過度な負荷をかけないでください。

コントローラーやスイッチが破損して、操作できなくなる可能性があります。

- 自動車のトランクや、電車やバスなどの公共交通機関に本体を乗せる際は、きちんと固定してください。振動や衝撃で動き、本体が破損するおそれがあります。

- 本体の運搬にリフトを使用する場合は、きちんと固定してください。落下して、本体が破損する可能性があります。



- 重いものを本体に乗せたまま運搬しないでください。

本体が故障する原因となります。



飛行機に乗ることが決まったら、事前に航空会社へ電動車椅子の輸送についてご連絡いただき、搭乗方法について確認する必要があります。ご連絡の際に、製品の仕様を航空会社にお知らせください。航空会社係員にお渡しいただく製品仕様の資料は、弊社ホームページの「よくある質問」からダウンロードすることができます。  
なお、一部の機体では電動車椅子の輸送ができない場合があります。

### 7.2.1. 本体を折りたたんだ状態で運ぶ

本体を折りたたんだ状態で運搬する方法について説明します。

#### ⚠ 注意



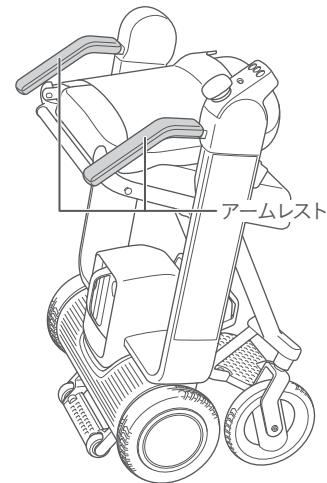
- フットサポートの下にあるローラーが地面についた状態で方向転換をしないでください。  
スタンドローラーに過度な力が加わり、破損するおそれがあります。
- 周囲や路面状況を十分に確認して運搬してください。  
周囲に衝突したり、本体が転倒するおそれがあります。
- 本体を転倒させないでください。  
本体が破損する可能性があります。

1. アームレストを持ちます。

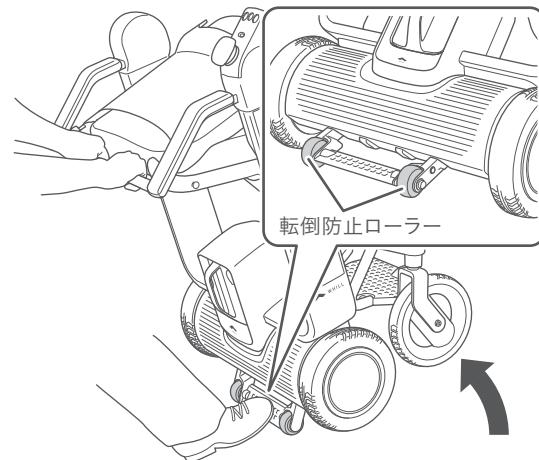


アーム調整ネジがしっかりと締まっていることを確認してください。

7



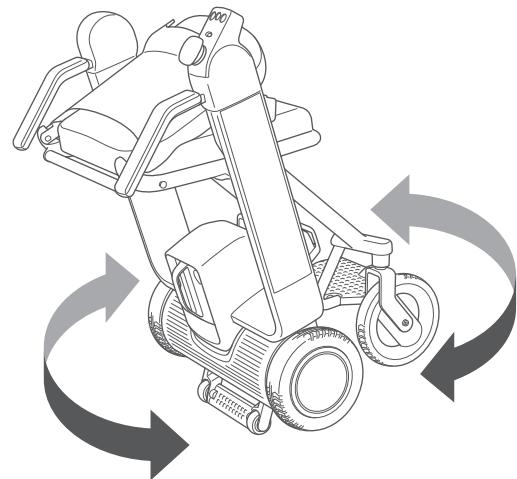
2. 方向転換をする際は、フットサポートの下にあるローラーを地面から浮かし、転倒防止ローラーだけが地面に着いている状態になるよう、本体を傾けます。



3. 転倒防止ローラーのみが地面についた状態で、転倒防止ローラーを転がして方向転換します。



- 製品を移動させる際は、周囲や路面状況を十分に確認し、衝突や落下のないよう気をつけてください。
- 横方向から力をかけたり、引きずったりしないでください。



## 7.2.2. 本体をトランクに積み込む

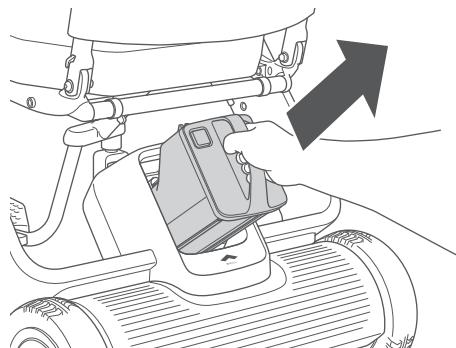
本製品を車のトランクや荷台に積み込む際の注意事項について説明します。

### ⚠ 注意

- 本体を車のトランクや荷台に積む際は、バッテリーを取り外してください。  
電源が入って本体が動き、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- 本体を車のトランクや荷台に積む際は、本書で説明している箇所以外は持たないでください。  
本体が破損するおそれがあります。
- 本体はバッテリーを除いた状態で、24 kg の重量があります。重いと感じた際は無理に持ち上げないでください。  
体を痛めたり、落として怪我をしたり、本体が破損するおそれがあります。
- 自動車のトランクなどに乗せる際は、きちんと固定してください。  
振動や衝撃で動き、本体が破損するおそれがあります。

#### 1. バッテリーを取り外します。

取り外し方法については、「4.1.1. バッテリーの取り外し」  
(53 ページ) を参照してください。



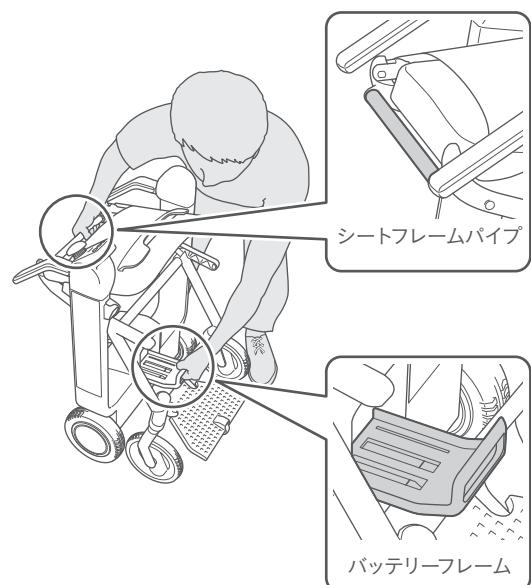
7

#### 2. 本体を折りたたみます。

折りたたみ方法については、「7.2.1. 本体を折りたたんだ状態で運ぶ」(88 ページ) を参照してください。

#### 3. 本体を積み込みます。

シートフレームパイプとバッテリーフレームの持ち手を握り、  
本体が横になるように持ち上げて積み込みます。  
コントローラーが下側にならないように注意してください。



### 7.2.3. アームレスト（コントローラー付属）を取り外して運ぶ

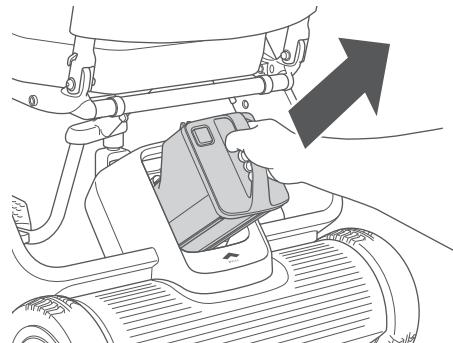
アームレスト（コントローラー付属）を本体から取り外して運搬したい場合は、以下の手順で行ってください。

#### ⚠ 注意

- アームレスト（コントローラー付属）を機内に持ち込む際は、事前に持ち込みの可否をご利用の航空会社にご確認ください。
- 取り外したアームレスト（コントローラー付属）を落としたり、ケーブルを強く引っ張らないでください。コントローラーが破損するおそれがあります。
- 取り外したアームレスト（コントローラー付属）は鞄や袋の中に入れてください。そのままの状態で持ち運ばないでください。また、ケーブルが絡まないようにしてください。コントローラーが破損するおそれがあります。
- アームレスト（コントローラー付属）の長さと主な材質は下記になります。航空機の機内に持ち込みの可否をご確認される際に、ご参照ください。
  - 長さ：39.6 cm
  - 重さ：950 g
  - 主な材質：アルミニウム

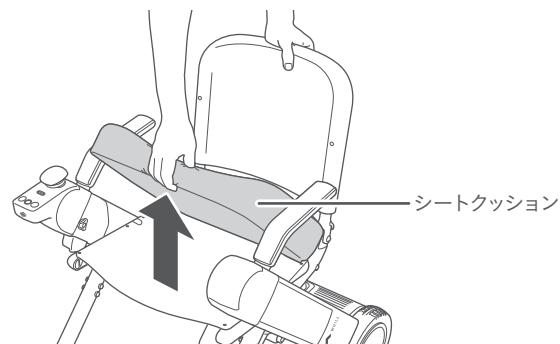
#### 1. バッテリーを取り外します。

取り外し方法については、「4.1.1. バッテリーの取り外し」（53 ページ）を参照してください。



7

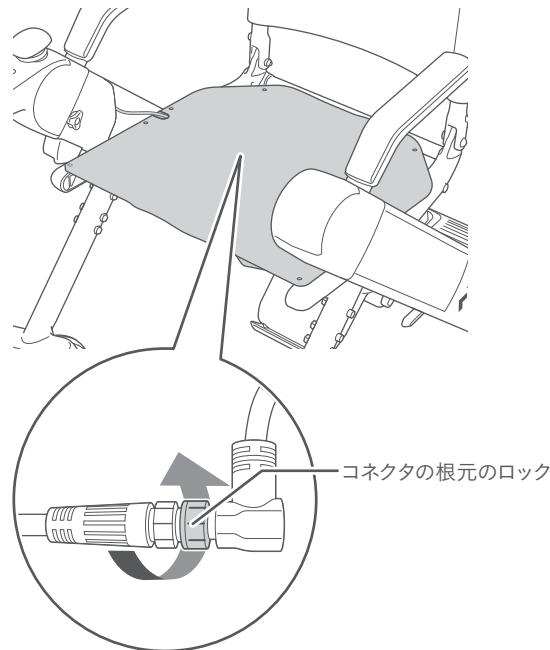
#### 2. シートクッションをシートから取り外します。



### 3. シートの裏側にあるケーブルのコネクタを外します。



- コネクタを外す際は、コネクタの根元のロックを回してください。
- それ以外は回さないでください。
- コネクタを外す際は、強く引っ張らないでください。ケーブルが断線するおそれがあります。



### 4. アーム調整ネジを外します。

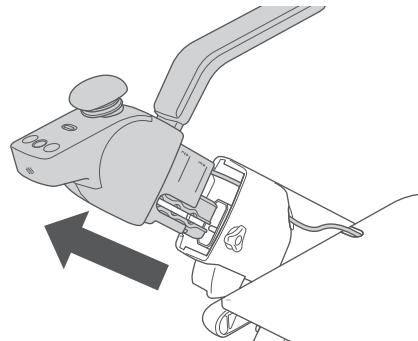
取り外し方法については、「3.3.1. アームレストの高さ調整」(42 ページ) の手順 2 を参照してください。



増し締めしたアーム調整ネジをゆるめる場合は、プラスドライバーを使用してください。

7

### 5. アームレスト（コントローラー付属）を取り外します。



### 6. アーム調整ネジを締めます。



アーム調整ネジを紛失しないように気をつけてください。



## 8. スマートフォンアプリについて

この章は WHILL Model F で使用するアプリの説明です。

Apple 社の iOS (13.0 以降) が搭載されたデバイス (iPhone や iPad など) や、Google 社の Android OS (7.0 以降) が搭載されたスマートフォンに WHILL のアプリをインストールすると、本体の設定をアプリから行うことができます。接続可能な距離まで本体に近づいてご利用ください。アプリのリモートコントロール機能を使用すると、降車した後に本体を隅に寄せたり、狭い場所に保管する際に乗り降りせずに本体を移動することができます。また、本体の鍵を操作することができます。お使いの地域、時期、スマートフォンの種類によっては、アプリが提供されていない場合、あるいは一部の機能がお使いいただけない場合があります。

同梱されているアプリ登録の ID とパスワードが印字されたラベルは、本取扱説明書の最終頁に貼り付けて紛失しないようにしてください。製品本体には絶対に貼りつけないでください。

### ⚠ 注意



- スピードを設定・調整した後は、安全な場所で動作を確認してから走行してください。  
製品が想定外の動きをするおそれがあります。



- スマートフォンのアプリで本体の鍵を操作する際は、スマートフォンの電池切れに気をつけてください。スマートフォンのバッテリーがなくなった場合に本体を操作できなくなるおそれがあります。
- 本体にバッテリーが取り付けられていない、またはバッテリー残量不足の際はスマートフォンアプリは使用できません。  
充電したバッテリーを本体に取り付けて使用してください。



# 9. 保守・点検

## ⚠ 警告



- 本書で説明されていない部位についての調整・修理または改造は行わないでください。  
怪我をしたり、本体や部品が損傷して製品の安全性に重大な影響を与えるおそれがあります。また、本書に記載されていない内容の修理や改造を行った場合、保証の対象外となる場合があります。



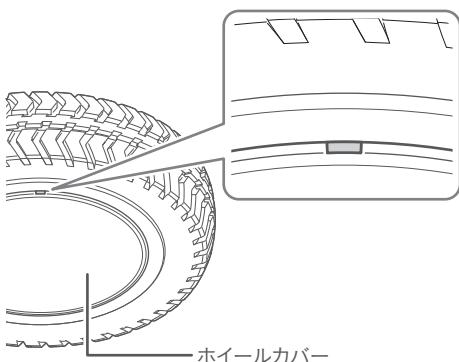
- ご自身で各部の調整やお手入れができない場合は、取扱店にお問い合わせください。トレーニングを受けたスタッフが、安全に配慮したメンテナンスを行います。
- メンテナスマニュアルは個人のお客様には配布しておりません。

## 9.1. お手入れ

本体のお手入れは、以下のように行ってください。

- 外装やタイヤの汚れが目立つ場合は、濡れたタオルで拭き取るようにしてください。タイヤを水洗いするときは、注意して行ってください。
- 汚れがひどい場合は、石油系溶剤の使用は避けて、中性洗剤を使用してください。
- 高圧洗浄は行わないでください。
- 前輪と後輪は溝の深さが約 0.5 mmになったら交換してください。
- 後輪の空気圧が適切になるよう空気を補充してください。後輪に空気を入れる際は、ホイールカバーの溝にマイナスドライバーを差し込み、ホイールカバーを取り外してください。

指定空気圧：40PSI



## ⚠ 警告



- タイヤ以外の部品および本体は水洗いしないでください。  
感電、ショート、腐食するなどして、故障の原因となります。

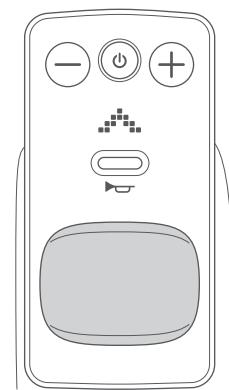
 注 意

- お手入れの際にシンナー、ベンジンなどの有機溶剤を使用したり、高圧洗浄を行ったりしないでください。  
変色、変形、劣化、破損などの原因となります。
- 先の尖った物でスピーカーの穴をお手入れしないでください。  
コントローラーが破損する原因となります。
- 本体の可動部や接合部に市販のグリースや油性の防錆剤・ワックスなどを塗布しないでください。  
べたつきなどで砂利など異物が本体に入り込み、本体が故障するおそれがあります。

## 9.2. コントローラーの操作部の取り付け

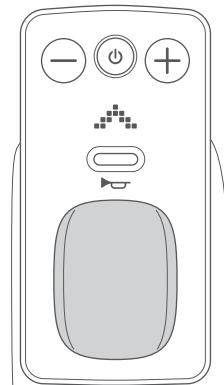
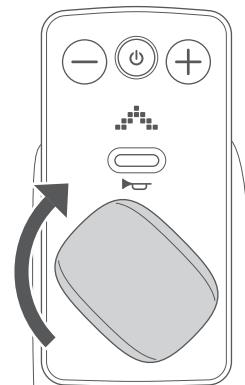
コントローラーの操作部が外れてしまった場合は、以下の手順に従って取り付けてください。

1. コントローラーの操作部を進行方向に対して横向きに  
はめ込みます。



2. 操作部を時計回りに 90° 回転させます。

定位置まで回転させた後に押し込みます。



### 9.3. 点検

本製品を長くお使いいただくために、取扱店による本製品の点検を定期的（半年に1回程度）に行うことをお勧めします。詳しくは、取扱店またはWHILLコンタクトデスクにご相談ください。

### 9.4. 製造者・取扱店が行う修理・メンテナンス・部品交換

修理・メンテナンス・部品交換が必要な場合は、取扱店またはWHILLコンタクトデスクにお問い合わせください。

#### ⚠ 警 告

- 転倒防止ローラーとフットペダルが変形した場合は、必ず交換してください。  
転倒防止機能が失われ、本体が転倒するおそれがあります。
- 使用中に異常を感じた場合は、ただちに使用を中止し、取扱店またはWHILLコンタクトデスクまでご連絡ください。  
故障した状態で使用を続けると、怪我をしたり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。

#### ⚠ 注 意

- 部品が摩耗したり、交換が必要な場合は、取扱店にご連絡ください。  
製品が損傷したり、操作ができなくなる可能性があります。

### 9.5. 廃棄について

本体、バッテリーおよび部品を廃棄する際は自治体のルールにしたがって捨ててください。不明なことがある場合は、取扱店またはWHILLコンタクトデスクにご相談ください。

### 9.6. 保証について

Model F 製品保証については、保証書をご確認ください。

## 9.7. 製造年月の確認方法について

### ■ 本体

基本情報ラベル（14 ページ参照）に記載された製造番号（シリアルナンバー）の 8 桁目から 10 桁目をご確認ください。

表記内容	年	月
表記箇所	8 ~ 9 桁目	10 桁目
表記方法	20 : 2020 21 : 2021 22 : 2022 23 : 2023 24 : 2024	1 ~ 9 : 1 月 ~ 9 月 A : 10 月 B : 11 月 C : 12 月

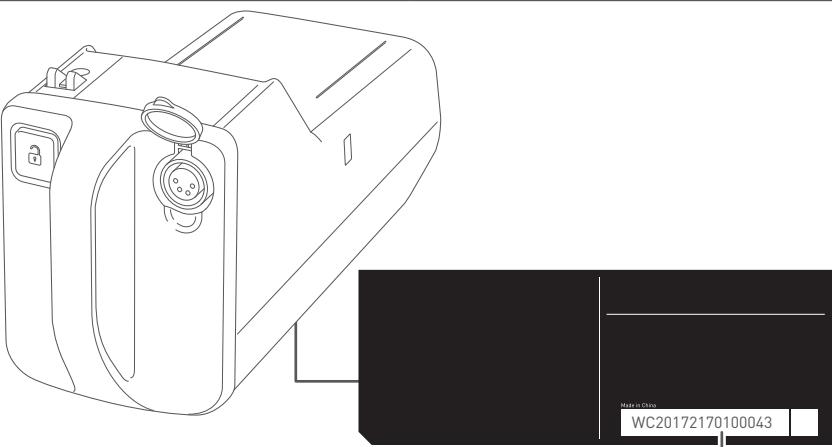
2020 年 6 月  
FA1213J2060123

SN	製造番号
FA1213J2060123	
UDI	
(01) 0 0000000 00000 00 (11) YYMMDD (21) 00000000000	
UDI	
Model F Series	

## ■ バッテリー

バッテリーの基本情報ラベルの白枠内に表記された 16 桁の製造番号（シリアルナンバー）の 4 桁目から 6 桁目をご確認ください。

表記内容	年	週
表記箇所	4 桁目	5 ~ 6 桁目
表記方法	0 : 2020 1 : 2021 2 : 2022 3 : 2023 4 : 2024	01 ~ 52

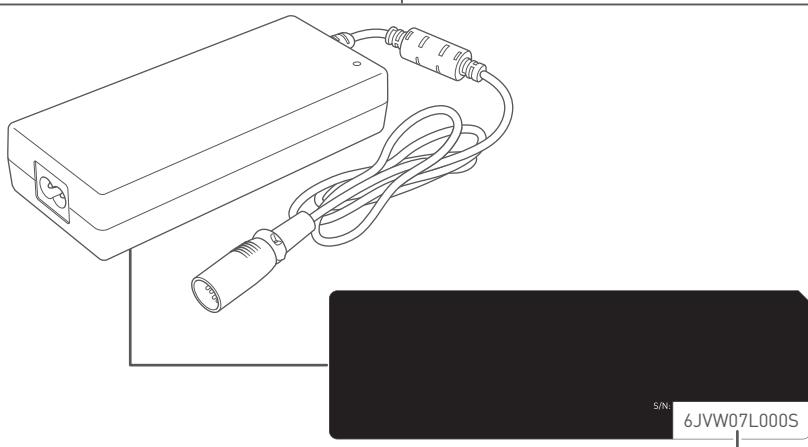


WC20172170100043  
2020 年 第 17 週

## ■ 充電器

充電器のラベルの白枠内に表記された 11 桁の製造番号（シリアルナンバー）の 5 桁目と 6 桁目をご確認ください。

表記内容	年	月
表記箇所	5 桁目	6 桁目
表記方法	0 : 2020 1 : 2021 2 : 2022 3 : 2023 4 : 2024	1 ~ 9 : 1 月 ~ 9 月 A : 10 月 B : 11 月 C : 12 月



6JW07L000S  
2020 年 7 月

# 10. トラブルシューティング

本体に異常や障害が生じた場合は、ディスプレイにエラーコードが表示されます。

以下に、ディスプレイの表示内容、原因、および対処方法を説明します。

現象	ディスプレイ表示	原因	対処方法
走行停止後に電源 OFF		折りたたんだ状態でコントローラーを操作した	折りたたみを解除して、電源を入れ直してください。
		コントローラーの操作中に電源を入れた	コントローラーに触れないで、電源を入れ直してください。
		ブレーキが解除された	ブレーキをロックして電源を入れ直してください。
		電源が入っている状態で、充電器を接続した / 充電器が接続されている状態で、電源を入れた	充電器をバッテリーから外してください。
右記のようなディスプレイ表示が出る		バッテリーの残量不足	充電してください。
速度が遅くなる		バッテリーの温度が著しく低下した	バッテリーを室温、もしくは 0°C 以上の場所に保管して、バッテリーの温度が 0°C 以上に戻るまでお待ちください。
速度が速くなる		バッテリーの温度が 0°C 以上になった	—
右記のような音声とディスプレイ表示が出る		スマートキー（オプション）の電池残量不足	スマートキーの電池を交換してください。
本体の電源が入らない。ディスプレイ表示が点灯しない	なし	バッテリーの残量不足	充電してください。
		本体にバッテリーがしっかりと取り付けられていない	バッテリーをしっかりと本体に押し込んで取り付けてください。
			一度バッテリーを取り外し、10 秒以上たってから再度バッテリーを取り付けてください。



- ディスプレイに表示されるエラーコードの数字は、赤い縦線と共に表示されます。
- リストにないエラーが表示された場合、あるいはトラブルシューティングに従って対処しても問題が解決しない場合は、取扱店またはWHILL コンタクトデスクにお問い合わせください。



# 11. 仕様・試験結果

## 11.1. 仕様

### ■ 本体

製品名称	WHILL Model F
製造者名 / 製造者住所	WHILL 株式会社 〒140-0002 東京都品川区東品川2丁目1番11号
最大重量	115 kg (乗員・荷物含む)
移動方式	二輪駆動
速度切り換え	4段階
ブレーキ方式	電磁ブレーキ
前輪タイプ	外径 194 mm
後輪タイプ	標準：エアタイヤ／外径 207 mm
最大許容傾斜	10°
航続距離	20 km
最大耐荷重	115 kg
充電時間	5 時間
使用環境	-15 ~ 40° C
ピボット幅	1080 mm
コントローラーの操作力	1N
本体のノイズレベル	通知音を除き 65 dB 以下
バッテリー製造者名 / 製造者住所	WHILL 株式会社 〒140-0002 東京都品川区東品川2丁目1番11号
バッテリータイプ	リチウムイオン電池
公称電圧	25.3 V
定格容量 (5 時間率)	10.6 A

## ■ 充電器（専用）

定格電源	100-240 V、50/60 Hz
定格直流出力電流	2.4 A
定格直流出力電圧	28.49 V
使用環境、充電環境	0 ~ 40° C
適合バッテリータイプ	リチウムイオン電池
対象となるバッテリーの定格容量（5 時間率）	10.6 A
コネクタピンの割り当て	Pin1: + Pin2: - Pin3: 検出 Pin4: 未接続
[Type reference] 充電器のタイプ	非搭載型
使用者が操作可能な保護ヒューズの定格電流	当該ヒューズなし
充電器の製造者名 / 製造者住所	WHILL 株式会社 〒140-0002 東京都品川区東品川 2 丁目 1 番 11 号

## ■ アンテナ

ファンクション	周波数	最大出力
BLE (Bluetooth Low Energy)	2402 - 2480 MHz	6 dBm

## 11.2. 寸法と試験結果

テストダミーの質量 : 115 kg

項目	最低値	最高値
全長 (フットサポート含む)		935 mm
全幅	555 mm	605 mm
全高		802 mm
本体重量 (バッテリー含む)		26.7 kg
本体重量 (バッテリー含まず)		24 kg
バッテリー重量		2.7 kg
航続距離		20 km
障害物乗越高さ (前進時)		35 mm
最大前進速度		6 km/h
座面角度 (シートクッション取付時)		6°
有効座面長さ		400 mm
有効座面幅		450 mm
座面端の地上高	443 mm (後輪側)	495 mm (前輪側)
バックサポート角度		104°
フットサポートから座面までの高さ		348 mm
座面と脚の角度		84°
アームレストから座面の距離	175 mm	215 mm
アームレストの前端位置	670 mm	710 mm
車軸の水平方向の位置		43 mm
最小回転半径		780 mm
最大制動距離		740 mm
全長 (折りたたみ時)		465 mm
全幅 (折りたたみ時)	555 mm	605 mm
高さ (折りたたみ時)	855 mm	907 mm



# 索引

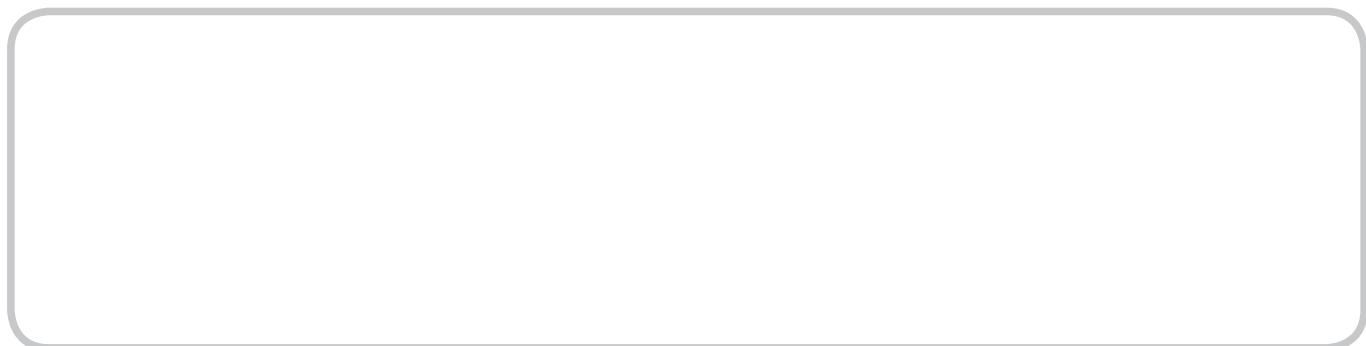
E	コントローラーの操作部 ..... 74
EMI	コントローラーの操作部の取り付け ..... 98
あ	コントローラーヘッド（操作部） ..... 13
アームレスト	さ
間隔変更	最高速度の調整 ..... 70
高さ調整	サウンドボタン ..... 13, 70
アクセサリー	し
アブリ	シートクッション ..... 17
安全上のご注意	試験結果 ..... 104
い	自動車のトランク ..... 87, 90
移動	充電器 ..... 13, 52
う	充電方法 ..... 54
運転	充電ランプ ..... 61
運搬	修理 ..... 99
え	仕様 ..... 104
エラーコード	乗車 ..... 64
お	乗車前点検 ..... 63
お手入れ	シリアルナンバー ..... 14, 100, 101
お問い合わせ先	す
か	スピーカー ..... 13
回転	スマートフォン ..... 94
各部のはたらき	スマートフォンアプリ ..... 94
各部の名称	寸法 ..... 106
く	せ
組立方法	製品情報 ..... 14
アームレスト	前輪 ..... 13
アームレストの高さ調整	そ
折りたたみ	操作方法 ..... 62
カラープレート	速度調整ボタン ..... 13
ケーブル	速度の調整 ..... 76
シートクッション	ち
バッテリー	調整方法 ..... 41
け	て
警告ラベル	停止 ..... 75
こ	ディスプレイ ..... 13, 102
後輪	点検 ..... 96, 99
骨盤ベルト	電源ボタン ..... 13, 69
コントローラー	電源を入れる ..... 69
左右位置変更	電磁波干渉 ..... 10

電池残量	70
転倒防止ローラー	13
と	
トラブルシューティング	102
取り外し	
バッテリー	53
は	
バックサポート	13, 79
バッテリー	13, 17, 50, 52
残量確認	59, 70
充電	54
充電ランプ	61
取り外し	53
バッテリー LED	52, 59
バッテリーの充電	50
バッテリーの取り外し	53
ふ	
部位の名称	16
フットサポート	13
部品交換	99
ブレーキ	78
ブレーキ解除レバー	13, 78
ブレーキの解除	78
ほ	
保管	86
保守	96
め	
メンテナンス	99
ら	
ラベル	11
ろ	
ロック解除ボタン	52

# お問い合わせ先

お買い上げ時の取扱店が、修理・メンテナンス・部品交換、および不明点のご相談をお受けいたします。また修理の際の代車の有無についても、取扱店にお問い合わせください。製品の保証の詳細については、取扱店にお問い合わせください。また、製品の安全に関する注意事項や製品リコールに関する情報について連絡を差し上げる場合がございますので、最新の連絡先を取扱店にお知らせください。

## ■ 取扱店



## ■ 製造販売元

WHILL 株式会社

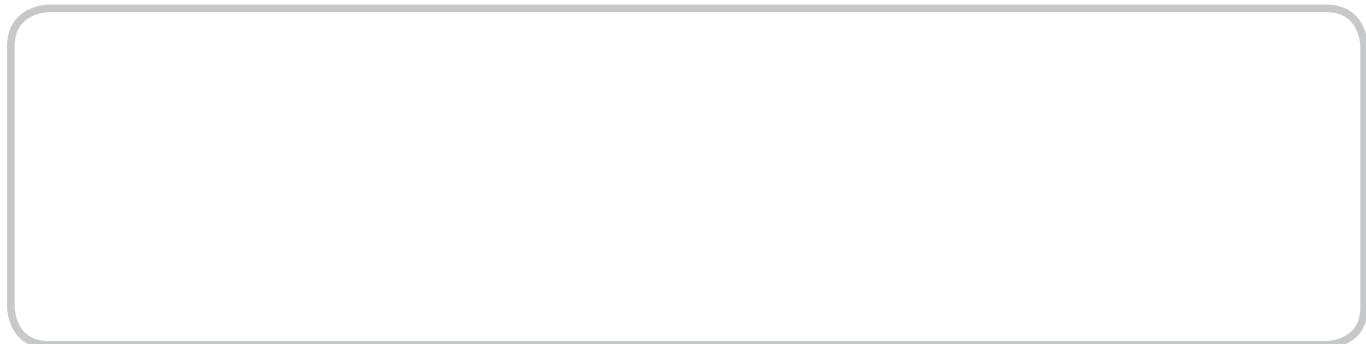
住所：〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目1番11号

お問い合わせ（WHILL コンタクトデスク）：

0800-080-4338 (IP電話の方：050-3085-9840)

ウェブサイト： <https://whill.inc>

## ■ アプリ登録パスワード



同梱されているアプリ登録のIDとパスワードが印字されたラベルは、上の枠に貼り付けて紛失しないようにしてください。製品本体には絶対に貼りつけないでください。



